

フィリピン共和国  
地方自治体の観光統計に係る  
能力強化プロジェクト  
事前調査報告書

平成20年12月  
(2008年)

独立行政法人国際協力機構  
フィリピン事務所

フピ事
J R
<b>08-010</b>



フィリピン共和国  
地方自治体の観光統計に係る  
能力強化プロジェクト  
事前調査報告書

平成20年12月  
(2008年)

独立行政法人国際協力機構  
フィリピン事務所



## 序 文

フィリピン共和国では、「フィリピン中期開発計画（MTPDP）」（2004年～2010年）において、観光産業は優先産業のひとつに掲げられていますが、正確なデータ・情報に基づいて、観光開発計画が作成されていない、という問題点が指摘されています。

フィリピン共和国政府が「地方自治体の観光統計に係る能力強化」プロジェクトの実施を日本政府に要請したことを受けて、独立行政法人国際協力機構は2008年7月に事前調査を行い、プロジェクトの実施計画を検討しました。

その結果、観光省及び地方自治体の能力開発を通じて、正確な観光統計データを収集・分析し、それらに基づく観光開発計画が作成されることを目的とするプロジェクトを実施することでフィリピン共和国側と日本側が合意し、2009年5月から3年の計画でプロジェクトを実施する予定です。

本報告書は、上記調査の内容・結果をまとめたものであり、今後のプロジェクトの展開に広く活用されることを願うものです。

最後に、調査の実施に際し、多大なるご支援とご協力を賜りました関係各位に対しまして、心より感謝申し上げます。

平成 20 年 12 月

独立行政法人国際協力機構

フィリピン事務所長 松田 教男



# 目 次

序 文

目 次

略語表

事業事前評価表

第1章 事前調査の概要	1
1-1 要請背景	1
1-2 事前調査の目的	1
1-3 調査団構成	1
1-4 調査日程	2
1-5 主要面談者	2
第2章 プロジェクトの基本枠組み	4
2-1 プロジェクト枠組み	4
2-2 本プロジェクトの成果	4
2-3 プロジェクトの対象及びコンポーネント	5
第3章 事前調査における主な協議事項	7
3-1 既往協力の評価	7
3-2 プロジェクトのスコープ	7
3-3 プロジェクトの実施体制	7
3-4 LGU の関与	8
3-5 研修の実施方法	9
第4章 評価5項目による評価結果	10
4-1 妥当性	10
4-2 有効性	10
4-3 効率性	11
4-4 インパクト	11
4-5 自立発展性	11
付属資料	
1. 協議議事録 (M/M)	15
2. 討議議事録 (R/D)	33
3. 面談記録	46





## 略 語 表

DOT	Department of Tourism	観光省
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人 国際協力機構
LGU	Local Government Unit	地方自治体
M/M	Minutes of Meetings	協議議事録
MOU	Memorandum of Understanding	覚書
MTPDP	Medium Term Philippine Development Plan	フィリピン中期開発計画
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan of Operation	活動計画
R/D	Record of Discussions	討議議事録



# 事業事前評価表（技術協力プロジェクト）

作成日：平成 20 年 8 月 19 日

担当部・課：フィリピン事務所

## 1. 案件名

(英) Capacity Development on Tourism Statistics in Local Government Units

(和) 地方自治体の観光統計に係る能力強化プロジェクト

## 2. 協力概要

### (1) プロジェクト目標とアウトプットを中心とした概要の記述

フィリピン共和国（以下、「フィリピン」と記す）観光省（Department of Tourism : DOT）及び地方自治体が、観光データ・統計収集・分析能力の強化を通じて、観光開発計画の作成に係る能力開発を図ることが本プロジェクトの目標である。この目標を達成するために、本プロジェクトは、①DOT 及び対象自治体職員の観光統計に係る能力開発、②DOT 及び対象自治体の組織・制度面に係る能力開発、の 2 つの柱から成る成果・活動を設定している〔なお、対象自治体は、フィリピン政府の観光政策における優先度に基づき、リージョン 4（パラワン州）、リージョン 6（全州）及びリージョン 7（全州）において、約 5 ヶ所以上の観光施設を有する地方自治体とする〕。

第一の柱に関しては、まず、対象自治体を対象に、観光統計に係る研修（基礎編及び上級編）及び観光計画（マーケティング及び投資戦略に係る計画作成を含む）に係る研修を実施する。その結果、対象自治体が適切に観光統計データを収集・加工・分析できるようになることをめざす。また、DOT 本省は、各研修に参加することに加えて（一部研修には講師として参加する）、研修終了後、研修成果が自治体に定着するようにモニター活動を行う。最終的には、分析されたデータを基に、いくつかの観光地において試行的な観光開発計画が策定されることをめざす。

第二の柱に関しては、自治体の観光担当者向けのガイドブック作成、観光統計データの管理システムの作成、観光統計マニュアルの改訂、各種研修教材の作成等を行うことによって、DOT 及び対象自治体の組織・制度面での能力開発をめざす。

### (2) 協力期間

2009 年 5 月～2012 年 4 月（予定）

### (3) 協力総額（日本側）

約 3 億円

### (4) 協力相手先機関

観光省（DOT）

### (5) 国内協力機関

特になし

(6) 裨益対象者及び規模、等

対象自治体（約 130）の観光担当官及び計画担当官（約 300 名）

DOT の観光開発計画課、等

### 3. 協力の必要性・位置づけ

(1) 現状及び問題点

フィリピンの観光産業は中期開発計画（2004～2010 年）において重要産業と位置づけられており、DOT は「観光開発アクションプラン」を 2004 年に策定し、一層の観光開発を進めている。より現実的かつ実効性の高い計画を策定、実施するためには、精度の高い情報を蓄積、分析することが必要である。しかし、現状では、例えば、認定を受けていない宿泊施設や飲食店等の情報を適時把握することが困難な状況である。

また、地方自治体では、観光担当部署が未設置であったり、脆弱な体制であったりすることに表れているように、概して観光産業に対する知識・経験が不足している。

そこで DOT は短期専門家の派遣を日本政府に要請し、2006 年から 2007 年まで「観光開発」専門家が派遣された。同専門家の協力を得て、地方自治体職員向けの観光統計マニュアル〔地方自治体（Municipality）レベルでの統計データ（特に宿泊統計）の収集・報告〕が作成された。この成果を踏まえて、DOT は今後、地方自治体向け観光統計研修の質的・量的拡大、DOT と地方自治体との観光統計に係る連携強化（データベースの開発など）、観光開発計画策定に係る能力向上に取り組もうとしている。このような状況を踏まえて、DOT は、観光政策立案及び実施能力の更なる強化を目的とした技術協力プロジェクトの要請を日本政府に提出した。

(2) 相手国政府国家政策上の位置づけ

中期開発計画（2004～2010 年）において、観光産業の発展が重要課題のひとつとして掲げられている。また、フィリピン統計開発計画（Philippine Statistical Development Program for 2005 - 2010）においても、信頼のおける統計システムの開発が優先課題としてあげられている。さらに、アロヨ大統領は、2006 年の施政方針演説において、フィリピンを 4 つの「スーパーリージョン」に分ける中期開発計画を発表したが、そのひとつが「観光の中心地域としてのフィリピン中部」であり、本プロジェクトの対象地域と合致する。

(3) 我が国援助政策との関連、JICA 国別事業実施計画上の位置づけ（プログラムにおける位置づけ）

本プロジェクトは、投資戦略を含む観光開発計画の策定をめざすものであり、国別援助計画における重点分野「雇用機会の創出に向けた持続的経済成長」に対応する JICA 協力プログラム「投資促進」に位置づけられる。また、国別援助計画においては、重点開発課題へのアプローチとして、「地方自治体への支援及び地方自治体との連携強化」が謳われている。本プロジェクトは、地方自治体の観光統計作成・観光開発計画策定能力向上に対する支援を行うものなので、右アプローチと整合性があるといえることができる。

### 4. 協力の枠組み

本プロジェクトは、対象自治体に対する研修（観光統計及び観光計画）及び、DOT 及び対象自治体の観光計画策定に係る組織・制度面の能力強化を行うものである。DOT 本省は、プロジ

プロジェクト実施機関として、日本人専門家と協力して、対象自治体向けの研修実施、研修実施後のモニタリング、マニュアル・教材等の作成等を行う。対象自治体は、DOT との間で覚書を交わし、本プロジェクトへの積極的な参加を担保する。また、対象自治体が属する州政府は、DOT のリージョナル・オフィスと協力しながら、自治体の参加促進、自治体で作成する統計レポートの取りまとめ等を行う。また、研修の実施にあたっては、地方自治アカデミー（内務自治省傘下）からオブザーバーを招聘し、プロジェクト終了後は、同アカデミーによって、研修の全国展開を図る体制を整える。

#### 〔主な項目〕

##### (1) 協力の目標（アウトカム）

###### 1) 協力終了時の達成目標（プロジェクト目標）と指標・目標値

目標：DOT 及び地方自治体が、観光データ・統計収集・分析能力の強化を通じて、観光開発計画の作成に係る能力を開発する。

指標：① DOT のデータベースに登録されているデータ数・項目数

② DOT 本省における観光統計を活用した観光開発計画文書の数

###### 2) 協力終了後に達成が期待される目標（上位目標）と指標・目標値

目標：観光統計に係る制度・メカニズムの整備を通じて、DOT 及び自治体によるより適切な観光開発計画が策定・実施される。

指標：① 観光統計手法を導入する地方自治体の数

② 上記①の自治体における観光客数、投資案件数、その他の指標の改善

③ DOT 及び自治体によって作成された観光統計が定期的にアップデートされ、DOT ウェブサイト等に掲載されること

##### (2) 成果（アウトプット）と活動

###### <成果 1>

観光統計作成及び観光開発計画策定に関して、自治体職員の能力が向上する。

###### 活動：

1 対象自治体（州政府を含む）及び主要観光施設向けに、本プロジェクトの概要に係るオリエンテーションを実施する。

2 観光統計及び観光計画に係る研修モジュールを作成する。

3 観光統計に係る研修を実施する。

4 観光計画・マーケティング及び投資戦略に関する研修を実施する。

5 対象自治体による試行的観光客調査をモニタリングする。

6 観光開発計画（マーケティング及び投資戦略を含む）に係るワークショップを実施する。

###### 指標：

1 研修確認テストの合格者数（受講者の 80%以上）

- 2 対象自治体職員が、管轄する地域内の、認可された宿泊施設の70%以上に関する情報を把握する。
- 3 すべての対象自治体が適時に統計レポートをDOTに提出する。
- 4 州政府が、自治体で作成したレポートを適時に分析し、関係者に配布する。
- 5 自治体によって認可された計画文書の数（各観光地当たり1つ以上の文書）

#### <成果2>

DOT及び自治体の組織的・制度的な能力が開発される。

#### 活動：

- 1 DOTと対象自治体間の覚書（観光担当官の任命、予算措置等が主な内容）締結を推進する。
- 2 既存の観光統計マニュアルをレビューし、改訂する。
- 3 観光統計データを収集・分析するための標準フォーマットを作成する。
- 4 自治体の観光担当者向けの「観光統計作成ガイドブック」を作成する。
- 5 「全国観光会議」を開催し、プロジェクトの成果（品）を他の自治体に普及する。

#### 指標：

- 1 すべての対象自治体がDOTとの間で覚書を締結する。
- 2 宿泊施設にデータ提出を義務づける政令を発行した自治体の数（対象自治体の30%以上）
- 3 すべての対象自治体が標準フォーマットに従って、データ収集等を行う。
- 4 観光担当部署の新設、観光担当官の任命、観光事業への適切な予算配分を実施した自治体の数（対象自治体の50%以上）
- 5 全国観光会議に参加した自治体の数
- 6 プロジェクトの成果を導入したいという関心を表明した自治体の数

#### (3) 投入（インプット）

##### 1) 日本側（総額 約3億円）

###### ① 専門家派遣

観光統計、観光開発計画、研修管理

###### ② 第三国技術交換

###### ③ 機材供与

ラップトップコンピュータ、ソフトウェア等

###### ④ その他（プロジェクト活動費）

##### 2) フィリピン側

###### ① カウンターパート人件費

###### ② 施設手配（プロジェクト事務所、研修会場）

###### ③ その他（ローカルコスト負担）

(4) 外部要因（満たされるべき外部条件）

1) 上位目標達成のための外部条件

- ・ DOT 及び対象自治体が、プロジェクト終了後も覚書を更新し、協力関係を継続する。
- ・ プロジェクトにおいて策定された観光開発計画が、自治体によって実施される。

2) プロジェクト目標達成のための外部条件

- ・ 対象自治体が、観光統計データの管理システムの導入や観光計画の作成に関して積極的に取り組む。
- ・ DOT が別途導入するデータベースシステムが、自治体が提出するデータを取り込むことができる。
- ・ 対象自治体の首長（プロジェクト期間中の選挙によって選任された新首長を含む）が覚書の内容を遵守する。

5. 評価 5 項目による評価結果

(1) 妥当性

本プロジェクトは、以下の理由から妥当性が高いと判断される。

フィリピン政府は、フィリピン中部を観光開発の優先地域としている（スーパーリージョン構想）。プロジェクトの対象地域は、当該地域に含まれており、対象地域の選定は適切である。

多くの自治体において、歳入向上や雇用機会の創出の観点から、観光開発は重要なセクターになり得る。しかし、現時点で観光開発の重要性は必ずしも多くの自治体で認識されていない。例えば、多くの自治体で、正規の職員が配置されている観光担当部署が設置されていない。また、観光事業に割り当てられている予算も十分ではない。本プロジェクトは、信頼できる観光統計の提供を通じて、観光開発計画能力の向上をめざすものであり、このような活動によって、地方自治体首長等が観光開発のポテンシャルを認識し、具体的な行動をとることを促すものである。また、自治体との覚書締結によって、担当部署の設置や予算割り当ても求めていくものであり、上記の問題点に対処するものである。

また、観光統計は、観光開発の基礎となるにもかかわらず、多くの自治体の現状では、適切かつ適時に観光統計データを収集することが困難である。したがって、この点の改善をめざす本プロジェクトの妥当性は高い。

さらに、国際協力銀行（JBIC）は現在、本プロジェクトと同じ地域を対象に、観光関係のインフラストラクチャーを整備する事業を実施中である。本プロジェクトによって、自治体の観光統計及び観光計画作成能力が向上することは、JBIC の事業とあわせて、当該地域の観光振興に貢献すると考えられる。

一方、本プロジェクトは、投資戦略を含む観光開発計画の策定をめざすものであり、国別援助計画における重点分野「雇用機会の創出に向けた持続的経済成長」に対応する JICA 協力プログラム「投資促進」に位置づけられる。また、重点開発課題へのアプローチとして、「地方自治体への支援及び地方自治体との連携強化」が謳われている。本プロジェクトは、地方自治体の観光統計作成・観光開発計画策定能力向上に対する支援を行うものなので、右アプローチと整合性があるといえる。

## (2) 有効性

以下の取り組みを通じ、本プロジェクトの目標は達成される見込みである。

本プロジェクトでは、100以上の自治体を対象に、観光統計（基礎編）、観光統計（上級編）及び観光計画・マーケティング・投資戦略に関する研修を実施する。それぞれの研修終了後、DOT及び日本人専門家が各自治体に対してモニタリング活動を行う。その過程で、各自治体（観光担当官）は、研修成果を活用して具体的な観光統計データ収集（試行的な調査実施を含む）、加工、分析等を実施する。これらの活動を通じて、プロジェクト目標が達成される見込みである。

ただし、自治体・観光施設の本プロジェクトに対するコミットメント（外部要因）、研修参加者の適切なスクリーニング、研修参加者の異動等の不確定要因も存在する。この点は、DOTと各自治体の間で覚書を締結するとともに、本プロジェクトが自治体首長及び観光施設に対するオリエンテーション等を実施することによって、不確定要素を取り除く仕組みを導入している。

## (3) 効率性

本プロジェクトでは、以下の理由から効率的な実施が見込まれる。

本プロジェクトでは、各活動の成果を取りまとめるために、各活動間に十分な間隔を設けている。この期間を利用して、DOTは各自治体の活動進捗状況をモニタリングできる。さらに、ローカルコンサルタントを備え、各自治体の活動状況のモニタリング・調整を行うことによって、現場レベルでのきめ細かなフォローを行うことができる。

## (4) インパクト

本プロジェクトのインパクトは、以下のように予測される。

本プロジェクトでは主要な観光地を網羅しているため、本プロジェクトで策定された試行的な観光開発計画が自治体によって実施されれば、持続的な観光セクターの発展に大きく寄与することが想定される。

また、プロジェクト終盤において、本プロジェクトで開発した研修教材、観光統計データの標準フォーマット等を全国の自治体に普及することを目的に、全国観光会議を開催する。本プロジェクトでは対象としなかった観光地を擁する自治体に関心を示せば、それらの地域においても観光統計に基づく観光開発計画が策定され、フィリピンの観光セクターの持続的発展に寄与することが期待される。

## (5) 自立発展性

以下のとおり、本プロジェクトの自立発展性は高いと予測される。

本プロジェクトでは、単発の研修だけではなく、研修終了後のモニタリング活動を通じて、研修参加者の知識・ノウハウの定着を図る。そのため、技術的な自立発展性は高いと



いえる。

組織面の自立発展性に関しては、自治体首長の継続的なサポート、観光施設にデータ提供を義務づける政令等の発行、自治体における必要予算の手当て、観光担当官の任命等に依存する。本プロジェクトでは、DOT と自治体との覚書締結という方法によって、これらの実現を図る仕組みを取り入れている。また、本プロジェクトでは、各研修内容を DOT に組織的に定着させるために、研修モジュール・教材等を整備し、最終的に DOT 内に正式に認可されることをめざす。

さらに、本プロジェクトで実施する研修には、地方自治アカデミー教官をオブザーバーとして招聘するが、本プロジェクトで開発された研修モジュール・教材等は、プロジェクト終了後、同アカデミーに引き渡され、継続的に研修の実施が担保されるようになる予定である。

#### 6. 貧困・ジェンダー・環境等への配慮

試行的に観光開発計画を作成する際には、特に環境への配慮が必要である。具体的には、エコ・ゾーニングの考え方を踏まえた計画づくりを研修に取り入れていく。

#### 7. 過去の類似案件からの教訓の活用

2006年3月～2007年3月に派遣された短期専門家（観光開発）の協力で、観光統計マニュアルが作成された。本プロジェクトはその成果を引き継ぎ、マニュアルの必要な改訂を行うとともに、観光統計を活用した計画づくりをも視野に入れるものである。

#### 8. 今後の評価計画

- ・ 中間評価            プロジェクト2年次の前半
- ・ 終了時評価        プロジェクト終了前
- ・ 事後評価            プロジェクト終了3年後



# 第1章 事前調査の概要

## 1-1 要請背景

フィリピン共和国(以下、「フィリピン」と記す)の開発計画「フィリピン中期開発計画(MTPDP)」(2004~2010年)において、観光産業は優先産業のひとつと明記されている。観光省(Department of Tourism : DOT)は2004年に観光開発に係るアクションプランを作成し、同プランに基づく観光開発を推進してきた。より現実的かつ効果的な観光開発計画を策定するためには、観光産業に係る正確なデータ・情報を蓄積し、分析することが不可欠である。しかし、DOTは現状において、主要な宿泊施設や飲食店等に関する情報を適時・適切に把握することが困難である。

さらに、地方自治体(Local Government Unit : LGU)においては、観光産業振興・観光開発に関する知識や経験が不足していることが多い。例えば、観光産業を担当する部署や職員が配置されていないLGUも多いことに加え、観光担当部署を有するLGUであっても、往々にして経験・能力不足が顕著である。

このような状況を踏まえ、フィリピン政府は、日本政府に対して、観光開発に関する専門家の派遣を要請した。当該専門家は、2006年度にDOTへ派遣され、LGU職員向けの基礎的観光統計マニュアルの作成を支援した。この成果を踏まえ、DOTは、同マニュアルを活用した研修をLGU向けに開催し、DOTとLGUの協力関係を強化する等、DOT・LGU職員に対する能力開発に努めてきたところである。

以上の経緯を踏まえ、フィリピン政府は、日本政府に対して、観光開発計画に係る能力開発を目的とした技術協力プロジェクトの実施を要請した。右要請が日本政府に採択されたことを受けて、JICAは事前調査団を派遣したものである。

## 1-2 事前調査の目的

事前調査は、DOT本省・地方事務所(Regional Office)、対象LGU及び関係機関との協議を通じて、プロジェクトの基本コンセプトを確認することを目的として実施された。事前調査の結果、協議結果(評価5項目による評価結果を含む)、プロジェクトのコンセプトを取りまとめたプロジェクト・デザイン・マトリックス(Project Design Matrix : PDM)案及び活動計画(Plan of Operation : PO)案を盛り込んだ協議議事録(Minutes of Meetings : M/M)を作成し、フィリピン側代表者との間で署名・交換した。

## 1-3 調査団構成

事前調査団の構成は以下のとおりである。

担当	氏名	所属
総括(現地参团)	前原 充宏	JICA フィリピン事務所 主査
協力計画(1)(現地参团)	井上 建	JICA フィリピン事務所 所員
協力計画(2)(現地参团)	Alfred Bernarte Jr.	JICA フィリピン事務所 所員
評価分析	井田 光泰	インターワークス

#### 1-4 調査日程

月 日	総括 (前原団長)	協力計画 (1) (井上団員)	協力計画 (2) (Alfred 団員)	評価分析 (井田団員)
7月14日(月) ～19日(土)				国内準備作業(質問票作成等)
7月20日(日)				マニラ着
7月21日(月)	DOT本省とのキックオフ会議			
7月22日(火)	団内打合せ・地方調査準備作業			
7月23日(水)			リージョン7における協議・視察	
7月24日(木)			リージョン7における協議・視察	
7月25日(金)	DOT・団内打合せ(リージョン7での協議を踏まえた議論)			
7月26日(土)				資料作成
7月27日(日)				資料作成
7月28日(月)	パラワン州における協議・視察			パラワン州における協議・視察
7月29日(火)	DOT・団内打合せ(パラワン州での協議を踏まえた議論)			
7月30日(水)	DOT本省等との協議			
7月31日(木)		リージョン6における協議・視察		リージョン6における協議・視察
8月1日(金)	DOT・団内打合せ(リージョン6での協議を踏まえた議論)			
8月2日(土)		ボラカイ島における協議・視察		資料作成
8月3日(日)		ボラカイ島における協議・視察		資料作成
8月4日(月)	PDM案・PO案に係るDOT本省との協議			
8月5日(火)	PDM案・PO案に係るDOT本省との協議			
8月6日(水)	団内協議			
8月7日(木)	DOT及び地方自治アカデミーとの協議・M/M署名			
8月8日(金)				マニラ発

#### 1-5 主要面談者

##### (1) 観光省

Eduardo Jarque, Jr., Undersecretary, Tourism Planning and Promotions  
 Roland Cañizal, Director of the Office of Tourism Development Planning  
 Louella Jurilla, Regional Director for Region IV  
 Edwin Trompeta, Regional Director for Region VI  
 Patria Aurora Roa, Regional Director for Region VII  
 Milagros Say, Chief, Tourism Research and Statistics Division  
 Erwin Balane, Chief, Regional Development Planning Division

(2) 地方自治体等

Josephine Remolador-Cabarrus, Officer-in-Charge, Bohol Tourism Office

Adolfo Quiroga, Provincial Planning and Development Officer, Province of Cebu

Maribel Bui, Chief Tourism Operations Officer, Province of Palawan

Melinda Mohamad, Officer-in-Charge, City Tourism Office, Puerto Princesa City

Virgie Sarabia, Executive Director, Boracay Foundation Incorporated

Bombette Marin, Provincial Tourism Officer, Province of Iloilo

Jennylynd Cordero, Provincial Tourism Officer, Province of Negros Occidental

## 第2章 プロジェクトの基本枠組み

事前調査の協議を経て、DOT 側と合意したプロジェクトの枠組みは以下のとおりである。

### 2-1 プロジェクト枠組み

#### (1) 上位目標

観光統計に係る制度・メカニズムの整備を通じて、DOT 及び自治体によるより適切な観光開発計画が策定・実施される。

#### (2) プロジェクト目標

DOT 及び地方自治体が、観光データ・統計収集・分析能力の強化を通じて、観光開発計画の作成に係る能力を開発する。

#### (3) 成果

- 1) 観光統計作成及び観光開発計画策定に関して、自治体職員の能力が向上する。
- 2) DOT 及び自治体の組織的・制度的な能力が開発される。

#### (4) 活動

##### 1) 成果 1) に対応する活動

- ・ 対象自治体（州政府を含む）及び主要観光施設向けに、本プロジェクトの概要に係るオリエンテーションを実施する。
- ・ 観光統計及び観光計画に係る研修モジュールを作成する。
- ・ 観光統計に係る研修を実施する。
- ・ 観光計画・マーケティング及び投資戦略に関する研修を実施する。
- ・ 対象自治体による試行的観光客調査をモニタリングする。
- ・ 観光開発計画（マーケティング及び投資戦略を含む）に係るワークショップを実施する。

##### 2) 成果 2) に対応する活動

- ・ DOT と対象自治体との間の覚書（Memorandum of Understanding : MOU。観光担当官の任命、予算措置等が主な内容）締結を推進する。
- ・ 既存の観光統計マニュアルをレビューし、改訂する。
- ・ 観光統計データを収集・分析するための標準フォーマットを作成する。
- ・ 自治体の観光担当者向けの「観光統計作成ガイドブック」を作成する。
- ・ 「全国観光会議」を開催し、プロジェクトの成果（品）を他の自治体に普及する。

### 2-2 本プロジェクトの成果

本プロジェクトは、対象自治体向けの研修を実施するだけでなく、以下のような成果（アウトプット）・インパクトをめざすものであることを双方で確認した。

#### (1) 観光統計作成及び観光計画に関する地方自治体職員の能力強化

具体的には、①プロジェクトの対象自治体が、宿泊施設・観光客等に係るデータを定期的

に更新し、適時に DOT に提出するようになること、②正確な観光統計データを基に、DOT 及びプロジェクトの対象自治体が、主要な観光地に関する観光開発計画を作成できるようになること、③適切な観光開発計画を基に、道路等のインフラストラクチャーやホテル等の観光施設への投資が促進されること、等が成果として想定される。

## (2) DOT 及び自治体の組織的な能力強化

具体的には、①観光統計マニュアル、観光統計及び観光計画に係る研修モジュール・教材、等の成果品が、DOT の省令により組織的にエンドースされ、関係者が持続的に活用できる状態になること、②プロジェクトの対象自治体と DOT との間で MOU が交わされ、各自治体において、観光担当者の任命・宿泊施設にデータ提供を義務づける政令の発行等、プロジェクトの成果を持続させる仕組みが導入されること、③プロジェクトの対象地域（フィリピン中部）以外の自治体を招聘し、「全国観光会議」を実施し、プロジェクト成果を他の自治体に普及させること、等が想定される。

## 2-3 プロジェクトの対象及びコンポーネント

- (1) 対象地域は、リージョン4（パラワン州）、リージョン6（ボラカイ等）、リージョン7（セブ、ボホール等）。対象自治体は約 130（各自治体から、観光担当 1 名及び計画担当 1 名の計 2 名が研修参加）。ただし、DOT との MOU 締結等の資格要件を満たさない自治体は対象外となる。
- (2) 観光統計マニュアルの改訂及び観光統計研修モジュール（基礎編、上級編）の開発基礎編モジュールは、フィリピン観光統計の概要、観光統計マニュアルの概略、自治体による観光統計の入力・集計・報告書作成の手順、等。
- (3) 観光統計研修の上級編モジュールは、観光客調査の目的・実施手順、データ入力・加工・分析方法、報告書作成、等（なお、上級編研修の一環として、実際の観光客調査を実施する）を含む。
- (4) 上記の観光統計マニュアル（改訂版）に沿って、標準データ入力テンプレートとデータ分析用テンプレート及び、オペレータ用の簡易マニュアルを作成（観光統計データ管理システムの作成）。アプリケーションはマイクロソフト Excel を想定（なお、DOT が別途、自己予算で、データベースを外注する予定）。
- (5) 上記の観光客調査で得られたデータを基に、観光計画研修を実施する。内容は、開発計画・マーケティング計画・投資計画の概念と作成手順、実際のプランニングの試行（ワークショップ形式）、等。ワークショップには、当該観光地にかかわる自治体だけではなく、宿泊施設関係者（ホテル協会等）や関係事業者等も巻き込み、観光地のプロモーションに資する具体的なツール（パンフレット、名産品のパッケージ方法等）についても議論する。
- (6) 観光計画研修で作成された観光開発計画を基に、各自治体が計画を実施することが想定さ

れる。また、プロジェクト終盤に、対象地域以外の自治体を招聘して全国観光会議を開催し、プロジェクト成果の全国普及を図る。さらに、マニュアル等の成果品については、DOTが正式にエンドースし、政府刊行物として発刊する。



## 第3章 事前調査における主な協議事項

### 3-1 既往協力の評価

個別専門家による協力（2006～2007年）により作成された「観光統計マニュアル」（今次プロジェクトで改訂予定）は、DOTから非常に高く評価されていることが確認された。同マニュアルは、基礎的な統計情報（宿泊施設の数、等）及びより高度な統計情報〔観光客調査（観光客数、出身国・地域、宿泊場所、滞在目的、消費性向、等）〕の収集方法等を記載しているものであり、セブ及びボホールにおいて、基礎的な統計情報に係る研修（基礎編）が実施された。

DOTは、同マニュアルを活用して、地方自治体向けの研修を自助努力で行ってきたことも確認された。今次要請のプロジェクトは、実際の観光計画作成をめざすものであり、対象自治体のコミットメントが不可欠であるが、この点はDOTが主体的に調整を図ることが期待される。

### 3-2 プロジェクトのスコープ

DOTとの協議の結果、プロジェクトの対象地域は、以下の11の州（Province）とすることとした。

リージョン6：西ネグロス（Negros Occidental）州、ギマラス（Guimaras）州、カピス（Capiz）州、アンティケ（Antique）州、アクラン（Aklan）州、イロイロ（Iloilo）州

リージョン7：セブ（Cebu）州、ボホール（Bohol）州、シキホール（Siquijor）州、東ネグロス（Negros Oriental）州

リージョン4-B：パラワン（Palawan）州

アロヨ大統領は、2006年の施政方針演説において、フィリピンを4つの「スーパーリージョン」に分ける中期開発計画を発表したが、そのひとつが「観光の中心地域としてのフィリピン中部」である。上記の各州は、「フィリピン中部」に位置しており、フィリピン政府の政策方針と合致するといえる。したがって、これらの州はプロジェクト対象として適切と判断される。

なお、DOTからは、アルバイ（Albay）州、南カマリネス（Camarines Sur）州、ソルソゴン（Sorsogon）州（いずれもリージョン5）も対象地域として含めたい、との要望があった。調査団としては、限られた投入で、広範な対象地域の事業を適切に実施管理することは困難であることから、上記の11州を対象地域として、残りの3州を対象に含めるかどうかについては、プロジェクトの進捗を踏まえつつ、中間評価の時点で判断することを提案し、DOT側の了解を得た。

DOT及び上記の州政府によると、プロジェクトの対象地域に含まれるLGUで、観光地・観光施設をある程度有するLGUの数は131である。内訳は、以下のとおりである。

ボホール：21、セブ：39、パラワン：20、東ネグロス：17、シキホール：2、西ネグロス：10、ギマラス：3、カピス：1、アンティケ：4、アクラン：3、イロイロ：11

### 3-3 プロジェクトの実施体制

#### (1) 日本側

本プロジェクトに配置すべき専門家の指導科目は、統計、観光開発計画、研修監理が考えられる。また、対象地域が多いことから、プロジェクトの活動進捗状況を適切にモニタリン

グするために、ローカルコンサルタントを効果的に活用することが重要である。

## (2) フィリピン側

DOTはプロジェクトの実施機関として、日本人専門家の協力を得て、プロジェクトを実施する。DOTは、別途、人事発令を行い、以下の職員をカウンターパートとして任命する予定である。

プロジェクト・ダイレクター：

Undersecretary Eduardo Jarque, Jr., Tourism Planning and Promotions

プロジェクト・マネージャー：

Director Roland Cañizal, Office of Tourism Development Planning

カウンターパート・スタッフ：

Chief Milagros Say, Tourism Research and Statistics Division (TRSD)

Chief Erwin Balane, Regional Development Planning Division (RDPD)

Ms. Marivic Magno, Tourism Operations Officer II, TRSD

Mr. Mark Aradanas, Tourism Operations Officer II, RDPD

Mr. Ramil Basuel, Data Analyst, TRSD

Mr. Jocel Banas, Computer Programmer, TRSD

地方事務所のカウンターパート・スタッフ：

Director Louella Jurilla, Region IV and two (2) regional planning/statistics staff

Director Edwin Trompeta, Region VI and two (2) regional planning/statistics staff

Director Patria Aurora Roa, Region VII and two (2) regional planning/statistics staff

## 3-4 LGUの関与

本プロジェクトは、LGUが観光統計情報を適切・適時に収集・分析し、DOTに報告できるようになることを通じて、DOT及びLGUの観光開発計画作成に係る能力開発を図るものである。したがって、対象LGUが積極的に本プロジェクトへ参加する仕組みを構築することが、プロジェクトの目標達成にとって極めて重要である。また、対象LGUは非常に多数にわたることから、プロジェクトの円滑な実施を担保するためにも、各対象LGUが能動的にプロジェクトへの参加をコミットすることが重要である。

このような観点から、DOTと対象LGUの間で、MOUを交わすことが有効であると考えられる。MOUの内容は、DOTとLGUの役割分担を明記するとともに、本プロジェクトへ参加するLGUは、専任の観光担当官ポストを設置する、宿泊施設にデータ提出を義務づける条例を制定する、等の要件を満たすべきこと等を明記することが想定される。

上記MOUに署名したLGUのみが、本プロジェクトへの参加（研修への参加）資格を有するとみなされる。さらに、プロジェクトの実施過程を通じて、DOTカウンターパート・チーム及び日本人専門家チームは、各LGUがMOU記載事項を遵守しているかどうか（例えば、観光担当官を指名したかどうか、等）をモニターし、遵守状況が良好なLGUのみをその後のプロジェクト活動の対象とみなすことも考えられる。

DOTと調査団は、上記の考えに基づきMOUを締結することに基本的に合意した。事前調査終了後、DOTはMOUの素案を作成することとなった。

### 3-5 研修の実施方法

本プロジェクトの対象自治体は、フィリピン中部の11州における100以上の自治体を対象にする。研修の効果を高め、プロジェクト成果の達成につなげるために、研修を実施するだけでなく、研修終了後のフォローアップ〔メンタリング（mentoring）・セッション〕を重視し、研修成果の定着と、「実際に活用できる成果品作成」をめざす。また、対象サイトが多いため、進捗状況を的確にモニタリングするためには、相応の貼り付け（日本人・ローカルコンサルタント）が必要になると思われる。本プロジェクトで実施する研修は以下のとおりである。

#### (1) 観光統計基礎コース

対象自治体を4グループに分けて実施。研修終了後、メンタリング・セッションとして、参加自治体の研修成果活用状況（観光統計の入手、集計等）を巡回指導する。

#### (2) 観光統計上級コース

対象自治体を4グループに分けて実施。研修終了後、研修成果を踏まえて、観光客調査（観光施設、空港等）を実施する。各州において4カ所の主要観光地を選定し、四半期ごとに計4回実施する（4カ所×11州×4回）。調査の準備・実施にあたっては、専門家チーム及びDOT（本省・地域事務所）によって巡回指導を行う。

#### (3) 観光計画

対象自治体を4グループに分けて実施。ワークショップ形式で、主要観光地の実際の計画作成（提案書作成）を行う。研修終了後のメンタリング・セッションとして、提案書の熟度向上、実現可能性等につき、巡回指導を行う。

## 第4章 評価5項目による評価結果

プロジェクトの基本的枠組みを評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）により評価した結果は次のとおりである。

### 4-1 妥当性

本プロジェクトは、以下の理由から妥当性が高いと判断される。

フィリピン政府は、フィリピン中部を観光開発の優先地域としている（スーパーリージョン構想）。プロジェクトの対象地域は、当該地域に含まれており、対象地域の選定は適切である。

多くの自治体において、歳入向上や雇用機会の創出の観点から、観光開発は重要なセクターになり得る。しかし、現時点で観光開発の重要性は必ずしも多くの自治体で認識されていない。例えば、多くの自治体で、正規の職員が配置されている観光担当部署が設置されていない。また、観光事業に割り当てられている予算も十分ではない。本プロジェクトは、信頼できる観光統計の提供を通じて、観光開発計画能力の向上をめざすものであり、このような活動によって、地方自治体首長等が観光開発のポテンシャルを認識し、具体的な行動をとることを促すものである。また、自治体とのMOU締結によって、担当部署の設置や予算割り当ても求めていくものであり、上記の問題点に対処するものである。

また、観光統計は、観光開発の基礎となるにもかかわらず、多くの自治体の現状では、適切かつ適時に観光統計データを収集することが困難である。したがって、この点の改善をめざす本プロジェクトの妥当性は高い。

さらに、国際協力銀行（JBIC）は現在、本プロジェクトと同じ地域を対象に、観光関係のインフラストラクチャーを整備する事業を実施中である。本プロジェクトによって、自治体の観光統計及び観光計画作成能力が向上することは、JBICの事業とあわせて、当該地域の観光振興に貢献すると考えられる。

一方、本プロジェクトは、投資戦略を含む観光開発計画の策定をめざすものであり、国別援助計画における重点分野「雇用機会の創出に向けた持続的経済成長」に対応するJICA協力プログラム「投資促進」に位置づけられる。また、重点開発課題へのアプローチとして、「地方自治体への支援及び地方自治体との連携強化」が謳われている。本プロジェクトは、地方自治体の観光統計作成・観光開発計画策定能力向上に対する支援を行うものなので、右アプローチと整合性があるといえることができる。

### 4-2 有効性

以下の取り組みを通じ、本プロジェクトの目標は達成される見込みである。

本プロジェクトでは、100以上の自治体を対象に、観光統計（基礎編）、観光統計（上級編）及び観光計画・マーケティング・投資戦略に関する研修を実施する。それぞれの研修終了後、DOT及び日本人専門家が各自治体に対してモニタリング活動を行う。その過程で、各自治体（観光担当官）は、研修成果を活用して具体的な観光統計データ収集（試行的な調査実施を含む）、加工、分析等を実施する。これらの活動を通じて、プロジェクト目標が達成される見込みである。

ただし、自治体・観光施設の本プロジェクトに対するコミットメント（外部要因）、研修参加者の適切なスクリーニング、研修参加者の異動等の不確定要因も存在する。この点は、DOTと各自治体の間で MOU を締結するとともに、本プロジェクトが自治体首長及び観光施設に対するオリエンテーション等を実施することによって、不確定要素を取り除く仕組みを導入している。

#### 4-3 効率性

本プロジェクトでは、以下の理由から効率的な実施が見込まれる。

本プロジェクトでは、各活動の成果を取りまとめるために、各活動間に十分な間隔を設けている。この期間を利用して、DOT は各自治体の活動進捗状況をモニタリングできる。さらに、ローカルコンサルタントを備え、各自治体の活動状況のモニタリング・調整を行うことによって、現場レベルでのきめ細かなフォローを行うことができる。

#### 4-4 インパクト

本プロジェクトのインパクトは、以下のように予測される。

本プロジェクトでは主要な観光地を網羅しているため、本プロジェクトで策定された試行的な観光開発計画が自治体によって実施されれば、持続的な観光セクターの発展に大きく寄与することが想定される。

また、プロジェクト終盤において、本プロジェクトで開発した研修教材、観光統計データの標準フォーマット等を全国の自治体に普及することを目的に、全国観光会議を開催する。本プロジェクトでは対象としなかった観光地を擁する自治体に関心を示せば、それらの地域においても観光統計に基づく観光開発計画が策定され、フィリピンの観光セクターの持続的な発展に寄与することが期待される。

#### 4-5 自立発展性

以下のとおり、本プロジェクトの自立発展性は高いと予測される。

本プロジェクトでは、単発の研修だけでなく、研修終了後のモニタリング活動を通じて、研修参加者の知識・ノウハウの定着を図る。そのため、技術的な自立発展性は高いといえる。

組織面の自立発展性に関しては、自治体首長の継続的なサポート、観光施設にデータ提供を義務づける政令等の発行、自治体における必要予算の手当て、観光担当官の任命等に依存する。本プロジェクトでは、DOT と自治体間の MOU 締結という方法によって、これらの実現を図る仕組みを取り入れている。また、本プロジェクトでは、各研修内容を DOT に組織的に定着させるために、研修モジュール・教材等を整備し、最終的に DOT 内に正式に認可されることをめざす。

さらに、本プロジェクトで実施する研修には、地方自治アカデミー教官をオブザーバーとして招聘するが、本プロジェクトで開発された研修モジュール・教材等は、プロジェクト終了後、同アカデミーに引き渡され、継続的に研修の実施が担保されるようになる予定である。



## 付 属 資 料

1. 協議議事録 (M/M)
2. 討議議事録 (R/D)
3. 面談記録





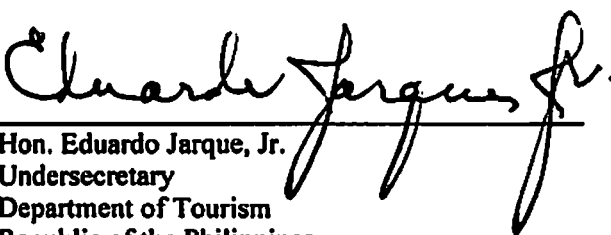
**MINUTES OF MEETING  
BETWEEN  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY  
AND THE  
DEPARTMENT OF TOURISM  
OF THE  
GOVERNMENT OF THE PHILIPPINES  
FOR JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT ON  
CAPACITY DEVELOPMENT ON TOURISM STATISTICS  
IN LOCAL GOVERNMENT UNITS**

In response to the request of the Government of the Republic of the Philippines, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched a Preparatory Study Team (hereinafter referred to as "the Team") for the Technical Cooperation Project on "Capacity Development on Tourism Statistics in Local Government Units" (hereinafter referred to as "the Project") from July 21 to August 7, 2008. The Team exchanged views and had a series of site visits and discussions with the Philippine authorities concerned. The undersigned confirms that the summary of discussions is as contained herein. The attendees from the Department of Tourism (hereinafter referred to as "DOT") and JICA agreed to report what has been discussed to their respective authorities to confirm the final authorization thereof and to ensure that necessary measures mutually agreed upon are undertaken for the successful implementation of the Technical Cooperation Project.

Taguig City, August 7, 2008

  
\_\_\_\_\_

Mr. Mitsuhiro Maehara  
Team Leader  
Japan International Cooperation Agency  
Philippine Office

  
\_\_\_\_\_

Hon. Eduardo Jarque, Jr.  
Undersecretary  
Department of Tourism  
Republic of the Philippines

## ATTACHED DOCUMENT

### **1. Project Background**

The tourism industry of the Republic of the Philippines is regarded as one of the prioritized industries of the Medium Term Philippine Development Plan (MTPDP) 2004-2010. The Department of Tourism (DOT) formulated an action plan in 2004 accordingly to pursue more tourism development and expand the marketing and investment promotions of the industry.

The DOT, however, is finding it difficult to collect, consolidate and analyze data specifically with respect to information regarding accommodation establishments (AE) at the local level. The DOT relies on local government units (LGUs) as source of such data but LGUs lack the know-how in gathering and recording these data proficiently. In 2006-2007, JICA supported a DOT undertaking through the dispatch of a Japanese expert that formulated a "Tourism Statistics Manual for Local Government Units." This effort also trained local staff of LGUs on basic tourism statistics and the proper usage of the manual thereof.

The present request from the DOT for a Technical Cooperation Project aims to expand the gains of the previous cooperation by providing tourism statistics training to additional LGUs encompassing identified strategic and high-potential tourism areas (including advanced training where appropriate), developing a standard system for tourism statistics collection, recording and reporting, establishing a database system for said tourism statistics, and enhancing the institutional capacity of LGUs in the use of tourism statistics and tourism development planning to promote and sustain the growth of local tourism.

### **2. Purpose and Result of the Preparatory Study**

A Preparatory Study Team shall be dispatched to conduct site visits and have a series of discussions with the DOT, participating LGUs and other relevant authorities about the basic framework of the Project. The Team shall examine the appropriateness as to the major components, scope, and coverage, among other things, of the Project.

The result of the Preparatory Study shall be embodied in a Minutes of Meeting wherein issues pertaining to the Outline of the Project, Project Design Matrix, tentative Plan of Operations, and measures to be taken by both parties are generally clarified and agreed upon. The Minutes of Meeting shall be signed and exchanged between the DOT and the JICA Preparatory Study Team.

### **3. Framework of the Project**

The basic framework of the Project is indicated by the Outline of the Project. Implementation of the Project shall be guided by the Project Design Matrix (PDM), given in Annex I, and the corresponding key activities are outlined in the tentative Plan of Operations, given as Annex II. Both parties agreed with the basic framework.

#### **Outline of the Project**

**Project Title:** Capacity Development on Tourism Statistics in Local Government Units

**Overall Goal:** Sustain the growth of the tourism sector by improving the institutional mechanisms for recording, collecting and disseminating tourism statistics

**Project Purpose:** Development and Improvement of DOT's and LGUs' capacity to formulate tourism development plans by enhancing database-building skill

**Outputs:** (1) Improved capacity of the staff in DOT and LGUs in tourism statistics development and tourism planning development.

(2) Organizational strengthening and institutional development of DOT and LGUs

**Implementing Agency:** The Office of Tourism Development Planning (OTDP) of the Department of Tourism shall be in-charge of the necessary coordination with JICA, participating LGUs, its own Regional Offices, and other relevant authorities for the successful implementation of the Project.

**Project Coverage:** The Project shall focus on the eleven (11) target provinces that the DOT has ascertained, namely, Cebu, Bohol, Siquijor, Palawan, Negros Oriental, Negros Occidental, Guimaras, Iloilo, Capiz, Antique, and Aklan (including Boracay).

**Project Duration:** Three (3) years, starting with the date of arrival of the JICA Experts Project Team



## Summary of Discussions

### Scope of the project

- Fourteen provinces, namely Cebu, Bohol, Siquijor, Palawan, Negros Oriental, Negros Occidental, Guimaras, Capiz, Antique, Aklan (including Boracay), Iloilo, Albay, Sorsogon, and Camarines Sur are proposed as the project's target areas. These provinces are located in the Central Philippines Super Region. Therefore, these provinces can be accepted as the project's target areas. Yet, considering the limited input and operational difficulties to simultaneously implement the project, the team suggests that the project will start with eleven provinces (Cebu, Bohol, Siquijor, Palawan, Negros Oriental, Negros Occidental, Guimaras, Capiz, Antique, Aklan and Iloilo) as the 1<sup>st</sup> priority provinces and whether the other three can be included will be determined, based on the results of mid-term evaluation.
- Based on the results of the consultations with the DOT and LGUs in the target provinces, the number of LGUs to be targeted by the project are the eleven provinces and approximately 131 cities and municipalities with tourist destinations and/or sufficient number of AEs (Bohol: 21, Cebu: 39, Palawan: 20, Negros Oriental: 17, Siquijor: 2, Negros Occidental: 10, Guimaras: 3, Capiz: 1, Antique: 4, Aklan: 3, Iloilo: 11).

### Framework of the project

- Both sides agree that the Project Design Matrix (PDM) and the Plan of Operations (PO) are revised as shown in Annex 1 and Annex 2 respectively.
- The primary focus of the project will be the capacity development of the staff in DOT and participating LGUs in the field of tourism statistics. Also, the project needs to assist DOT in the organizational strengthening and institutional development of the participating organizations (DOT central/regions, provinces and municipalities) by developing institutional mechanism from data collection to reporting and planning and updating the tourism statistics manual.
- Unlike the tourism statistics development, it is difficult to presume tangible outputs to be produced from trainings in tourism development planning and tourism marketing and investments. Cebu and Bohol may be able to produce concrete marketing and investment plans for specific tourist attractions as they have already received basic training in Phase I and advanced training in Phase II would help them develop such plans. Yet, the other LGUs may take longer to develop such plans. Therefore, the project will decide appropriate outputs and indicators for the capacity development in planning at the commencement of the project in consultation with the participating LGUs.
- One of the key factors to the success of this project is active participation of the participating LGUs and accommodation establishments (AEs). For this purpose, the following activities need to be added to the plan of operations:

- Orientation to local executives to raise awareness towards the importance of tourism statistics and gain support for project activities
- Seminar for AEs to brief the project activities and gain their support in data collection
- MOU between the DOT and each participating LGU to clarify roles and responsibilities of respective organizations to be involved in the project.
- The LGUs shall set up an implementation structure, assign a staff who will permanently fulfill the tourism-related function, and issue ordinance to encourage AEs to submit tourism related data.

In addition, the project will help the provinces and LGUs produce good reports (e.g. results of surveys) and present them to local executives and AEs so that these key players will understand that their support and cooperation can bring good benefits.

- The existing tourism statistics manual covers survey methodologies. In order to make it more useful to the tourism office, the project will produce a guidance document that includes such contents as how to set an implementation structure, system and suggestions on how to mobilize resources and obtain support from various stakeholders.

#### Implementation strategy

- The project will select the LGUs that will have signed MOU with DOT as the project's partners and these LGUs will receive training in tourism statistics. During that time, the project will monitor progress to what extent the LGUs comply with the requirements specified in MOU. The LGUs that meet the requirements will proceed to the mentoring session.
- To make trainings effective, the project needs to introduce a good screening mechanism for the selection of participants and select those who actually perform roles and functions in tourism statistics and tourism related planning activities.
- Facilitation and monitoring of project progress will be crucial, particularly while the Japanese expert team is not stationed in the Philippines. A national consultant(s) or coordinator(s) would be necessary to closely monitor the field level operations.
- In the course of project implementation, the following areas of concern should be addressed to ensure the sustainability of the project's outputs:
  - Training modules will be developed by the project. Yet, provision of training is not a mandate of DOT. Therefore, the developed modules need to be promoted to training service providers, such as the Local Government Academy (LGA), to ensure sustainability.
  - It is important to make data collection affordable to LGUs. Visitor survey would require an annual budget of approximately One Million Pesos for each destination when it is conducted on a full scale in compliance with the manual. The project needs to make the survey viable by finding measures to reduce costs, modify sample size and sampling methods so that LGUs can appropriate a budget for

tourism statistics and tourism planning.

- In order to ensure that the possible impact of the project's results and its statistics manual, training modules and guidebook are maximized and sustained, the DOT shall officially endorse the publications of said materials. DOT shall exert best efforts to issue a Department Order to formalize the endorsement and use of said materials.

## Steps of Project Implementation

### Step 1: Preparation activities

- The project will organize orientations to local executives of the LGUs and sign MOU between DOT and each participating LGU. The MOU will specify the roles and responsibilities of the Japanese expert team, DOT, province and municipalities, screening procedures and mechanism for selecting trainees, designation of staff who will permanently fulfill the tourism-related functions, cost sharing arrangements, proposed planning documents to be produced by the province and measures to involve AEs in project activities (e.g. issuing ordinance).
- Before basic training in tourism statistics, DOT and the provincial offices will organize a seminar for AEs to raise their awareness.
- The project will review and revise the existing tourism statistics manual and produce a guidebook. The project will develop and/or improve a basic tourism statistics training module, an advanced statistics training module and a tourism development planning, marketing and investment planning training module.
- Prior to training activities, the project will develop tourism statistics system (development of standard procedures and customized data entry formats). DOT will introduce Tourism Statistics and Market Intelligence System (TSMIS) which will serve as template so that the project can design the data entry formats and DOT can consolidate the gathered data from LGUs.

### Step 2: Training activities

- The project will check if the participating LGUs have met the requirements specified in the MOU.
- Basic and advanced tourism statistics training will be conducted in the first and second years of the project for the participating LGUs. In the third year, trainings in development planning, marketing and investment planning will be organized.
- The project will prepare a test for each training course. The participants will take the pre-test and post-test to measure their understanding of the contents and identify sections of the teaching materials to be improved. The project will produce evaluation report after each training session.

### Step 3: Mentoring session

- In the first year, after the basic training, the project will assist the participating LGUs

in collecting, processing and compiling data. In the second year, they will start conducting quarterly visitor survey, following advanced training conducted during the latter part of the first year. The provincial offices will produce tourism statistics reports. Then, DOT will compile reports and produce a compendium of destination tourism statistics.

- In the third year, the participating LGUs will develop destination specific development plan, marketing and investment plans, utilizing the tourism statistics report.
- Through the mentoring session, the project will help the participating LGUs develop a mechanism to sustain the introduced data gathering activities.
- Based on the tourism statistics reports and destination specific development plans, the provincial offices will formulate the local tourism destination strategy. Workshops will be organized for action planning and gathering inputs from stakeholders. Then, the LGUs will further improve the developed plans so that the plans will be endorsed by respective authorities through the monitoring period.
- Utilizing the newly generated statistics and indicators by the project, DOT will update the national tourism action plan.

#### **Step 4: Monitoring activities**

- After the mentoring session, the DOT-Regional offices and the provincial offices will follow up on the progress of data gathering and reporting of LGUs, planning activities and compliance with MOU. The provincial offices will produce and submit monitoring reports to the DOT.

#### **Step 5: Rollout of the project's outputs**

- The project will prepare the following outputs for the national tourism conference:
  - Revised and finalized tourism statistics manual
  - Guidebook for tourism officers and planning and development officers of LGUs
  - Leaflets of tourism statistics training course (basic and advanced courses), tourism development planning course and tourism marketing and investment training course, advocacy program to local executives and AEs
  - Finalized compendium of destination tourism statistics
  - Promotional materials (e.g. documentation of good practices) to LGUs
- In the conference, DOT will conduct survey to identify other LGUs that show interest and commitment to the development of tourism statistics for replication in future.
- DOT, the participating LGUs will also publicize the outputs of the project via website and publication.



## Roles and responsibilities of respective organizations

Activities	DOT-C	DOT-R	Province	LGU	Exp. Team
<b>Preparatory activities</b>					
Inception report	○	●	●	●	◎
Kick-off meetings with stakeholders in target areas	○	◎	●	●	◎
<b>Capacity building on tourism development</b>					
Preparations (Screening of trainees & logistic arrangements)	◎	◎	●	●	○
<b>Basic tourism statistics training</b>					
Conduct of training	◎	●	●	●	◎
Mentoring and follow-through activities	◎	◎	●	●	○
<b>Advanced tourism statistics training</b>					
Conduct of training (Including mock survey and designing of visitor survey)	○	●	●	●	◎
Mentoring and follow-through activities (Pilot surveys, data analysis and writing up reports)	◎	◎	●	●	○
<b>Tourism development planning, marketing and investment planning</b>					
Conduct of training	○	●	●	●	◎
Mentoring and follow-through activities (Including planning workshops)	◎	◎	●	●	○
Monitoring activities	○	◎	◎		○
Evaluations of training courses	◎	◎	○	○	○
<b>Institutional development</b>					
Orientation to local executives	○	○	◎	◎	○
MOU with LGUs	◎	◎	◎	◎	○
Seminar for AEs	○	○	◎	◎	○
<b>Organizational strengthening</b>					
Development of training modules	○				◎
Revision of tourism statistics manual	○				◎
Development of guidebook for tourism officer	○				◎
Development of standard tourism data Management systems	◎				◎
Monitoring of institutional development of LGUs in compliance with MOU		◎	◎		
National tourism conference	◎	●	●	●	○
Publicity activity (Publication)	◎	◎	◎	◎	○
Publicity activity (Web-based)	◎	◎	◎	◎	○
Project evaluation	◎	●	●	●	◎

◎: Lead role, ○: Support role, ●: Participation and/or contribution



#### **4. Administration of the Project**

The proposed management team of the Project in DOT is as follows:

<b>Project Director:</b>	<b>Undersecretary Eduardo Jarque, Jr.</b>
<b>Project Manager:</b>	<b>Director Rolando Cañizal, OTDP</b>
<b>Project Staff:</b>	<b>From the Tourism Research and Statistics Division:</b>
	<b>Milagros Say, Division Chief</b>
	<b>Marivic Magno, Tourism Operations Officer II</b>
	<b>Ramil Basuel, Data Analyst</b>
	<b>Jocel Bañas, Computer Programmer</b>
	<b>From the Regional Development Planning Division:</b>
	<b>Erwin Balane, Division Chief</b>
	<b>Mark Aradanas, Tourism Operations Officer II</b>

A Joint Coordinating Committee (JCC) shall be created to exercise oversight function over the management of the Project. The JCC shall approve the Annual Implementation Plan of the Project, as well as, decide on critical issues pertinent to the execution and general direction of said plan.

#### **5. Measures to be taken by Both Sides**

Input by Japan International Cooperation Agency:

- Experts for Tourism Statistics, Tourism Development Planning, and Training Management
- Local Consultants (including for data management system development and coordination)
- Expenses for Venue, Accommodations and Meeting Expenses for the Trainings, and Workshops
- Expenses for necessary transportation during the conduct of Trainings
- Expenses for the Venue and Meeting Expense of the National Tourism Conference
- Expenses for the Orientation to local executives and accommodation Establishments
- Expenses for identified pilot visitor survey sites and other related surveys necessary during Trainings
- Provision of Necessary Equipment and licensed software for Training Program
- Expenses for the Publication of the updated/revised Statistics Manual, the Guidebook and the Training Modules
- Expenses for the conduct of the Evaluation of the Project (partial)
- Technical Exchange Program in a Third Country as necessary

**Input by the Department of Tourism and participating LGUs of the Government of the Philippines:**

- Counterpart Staff from the DOT Central Office and DOT Regional Offices**
- Provision of office space for the JICA Experts Project Team at the DOT Central Office and at participating DOT Regional Offices**
- Expenses for Transportation of Trainees and DOT staff during the Trainings, Mentoring activities, Workshops and national tourism conference**
- Expenses for the conduct of the Mentoring and Monitoring activities**
- Expenses for the conduct of the Evaluation of the Project (partial)**
- Expenses for necessary coordination in the Development of Training Modules**
- Operating Expenses for the implementation of the Project**
- Coordination for the Orientation/Seminar, Training, Mentoring, Workshops, and Monitoring Activities (selection of participants, venue/s, needed materials, necessary coordination, etc.)**
- Nominees for the Technical Exchange Program in a Third Country as necessary**
- Execution of Memorandum of Agreement between DOT and participating LGUs with respect to the implementation of the Project and its subsequent outputs**

## **6. Steps Forward**

**The DOT shall execute a Memorandum of Understanding with the respective participating LGUs to define the nature of the collaboration with respect to the management, implementation, and outputs of the Project.**

**JICA shall prepare the tender for the services of experts in the respective areas of Tourism Statistics, Tourism Development Planning, and Training Management.**

**(End)**

## **ANNEXES**

- Annex I - Project Design Matrix**
- Annex II - Tentative Plan of Operation**
- Annex III - Implementation Structure**
- Annex IV - Evaluation by Five Criteria**
- Annex V - Draft Record of Discussions (R/D)**



## ANNEX I

## PROJECT DESIGN MATRIX

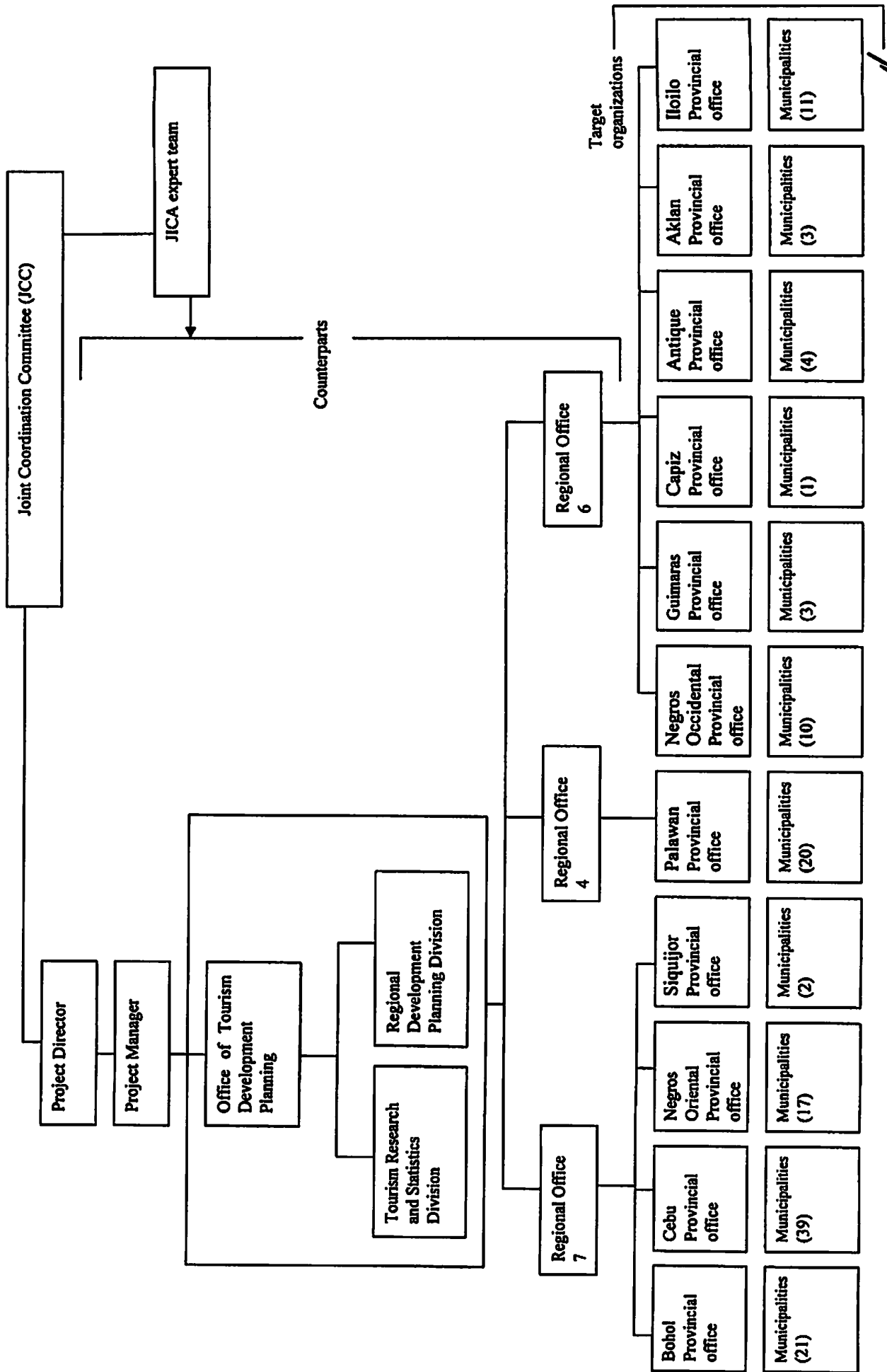
Overall goals	Narrative summary	Indicators	Means of Verifications	Assumptions
Sustain the growth of the tourism sector by improving the institutional mechanism for recording, collecting and disseminating tourism statistics	Growth of visitor arrivals and other tourism indicators (e.g. AE occupancy, tourism-related activities)	Regional Travellers in the Philippines Reports, Local Destinations Data Reports,  Record of DOT		
Project Purpose Development and Improvement of DOT and LGUs' capacity to formulate tourism development plans by enhancing database building skill	Number of LGUs introducing tourism statistics development activities, supported by DOT  Availability and accessibility of tourism statistics produced by DOT and LGUs via websites and in form of publication	Record of DOT and the participating LGUs		
Outputs 1. Improved capacity of the staff in DOT and LGUs in tourism statistics development and tourism planning development	Improved volume and indicators of DOT database Number and quality of planning documents of DOT, utilizing tourism statistics generated by the project	Database and analysis reports of DOT Developed and/or updated planning documents of DOT	DOT and the participating LGUs renews MOU and maintain their level of activities after the project  The plans developed by the project are implemented by respective LGUs.	
1-1 DOT and LGU staffs gain knowledge and know-how in tourism development planning, marketing and investment  1-2 DOT and LGU staffs gain knowledge and know-how in tourism development planning  1-3 LGUs are able to collect, process and analyze tourism statistics and write up reports.	1-1-1. Number of the participants completed training courses. 1-1-2. Proportion of the participants who passed test after training 1-2-1. Number of the participants completed training courses. 1-2-2. Proportion of the participants who passed test after training 1-3-1. More than 70% of the licensed AEs submit reports to LGUs. 1-3-2. All the participating LGUs report to DOT in a timely manner. 1-3-3. Provincial offices produce analysis reports in a timely manner and make reports available for distribution.	1-1-1. Evaluation reports on training 1-1-2. Evaluation reports on training 1-2-1. Evaluation reports on training 1-2-2. Evaluation reports on training 1-3-1. Monitoring reports 1-3-2. Monitoring reports 1-3-3. Analysis reports produced by Provincial offices 1-4-1. Planning documents of LGUs	LGUs of selected pilot areas are supportive in implementing the Standard System and in formulating their master tourism development plan.  A newly introduced database of DOT can consolidate data from LGUs.  Incumbent and newly elected local executives accept conditions and requirements specified in MOU.	
1-4 DOT and LGUs are able to develop tourism development plans, marketing and investment plans.	1-4-1. Number of planning documents produced and endorsed by LGUs			

<p>2. Organizational strengthening and institutional development of DOT and LGUs</p> <p>2-1 Tourism statistics development guide to tourism officer is developed to standardize bottom-to-top level tourism data gathering and reporting system.</p> <p>2-2 Data management system is functional at LGUs and DOT.</p> <p>2-3 The DOT-JICA tourism statistics manual for LGUs is updated.</p> <p>2-4 Cooperation among DOT and LGUs and other stakeholders in tourism sector is strengthened.</p>	<p>2-1-1. The guidebook is developed and distributed to LGUs.</p> <p>2-2-1. All the participating LGUs and DOT follow standardized procedures and formats instructed by the project.</p> <p>2-3-1. The manual is updated and distributed to LGUs.</p> <p>2-4-1. All the participating LGUs sign MOU with DOT/the Project.</p> <p>2-4-2. Number of LGUs issued ordinance to compel AEs to submit reports to LGU</p> <p>2-4-3. Number of LGUs established tourism office, appointed tourism officer and appropriate a budget for tourism statistics</p> <p>2-5-1 The training modules developed and accepted by DOT</p>	<p>2-1-1. Record of publication and distribution</p> <p>2-2-1. Monitoring reports</p> <p>2-3-1. Record of publication and distribution</p> <p>2-4-1. Reports on institutional development</p> <p>2-4-2. Reports on institutional development</p> <p>2-4-3. Reports on institutional development</p> <p>2-5-1 Developed modules</p>	
<p>2-5 Training modules for tourism statistics and tourism development planning and marketing and investment planning are developed.</p> <p>2-6 The outputs of the project are promoted to other LGUs with tourism destinations.</p>	<p>2-6-1. Number of the LGUs participated in the national tourism conference</p> <p>2-6-2. Number of the LGUs that express interest and commitment in replicating the project's activities (e.g. organizing training, conducting surveys and issuing ordinance, etc.)</p> <p>2-6-3. Plans and statistics publicized via websites of DOT and provinces</p>	<p>2-5-1. Report of conference</p> <p>2-5-2. Questionnaire survey to the participating LGUs in the conference</p> <p>2-5-3 Official web-sites of DOT-Central, regional offices, provincial offices and municipalities</p>	

## ANNEX II TENTATIVE PLAN OF OPERATION

	1st. year	2nd year	3rd year
<p><b>Activities</b></p> <p><b>1 Preparatory activities</b> Inception report Kick-off meetings with stakeholders in target areas</p> <p><b>2 Capacity building on tourism development</b> Preparations (Screening of trainees &amp; logistic arrangements) Basic tourism statistics training Conduct of training Mentoring and follow-through activities Advanced tourism statistics training Conduct of training Monitoring and follow-through activities Tourism development planning Conduct of training Workshop and follow-through activities Marketing and investment planning Conduct of training Workshop and follow-through activities Monitoring of follow-through activities Technical Exchange Program Evaluations of training courses</p> <p><b>3 Organizational strengthening and Institutional development</b> Institutional development Orientation to local executives MOU with LGUs Organizational strengthening Seminar for Accommodation establishments Development of training modules Review and revision of tourism statistics manual Development of standard tourism data management systems Production of guidebook Monitoring of institutional development in of LGUs in compliance with MOU National tourism conference Project Evaluation</p>	<p style="text-align: right;">(Revision) (Advanced training)</p>	<p style="text-align: right;">Report on institutional development of LGUs</p>	<p style="text-align: right;">(Tourism Dev't. Planning/Marketing &amp; Investment Planning) (Finalization)</p> <p style="text-align: right;">Final evaluation</p>

IMPLEMENTATION STRUCTURE



## **ANNEX IV**

### **EVALUATION BY FIVE CRITERIA**

#### **Relevance**

- **The Government of the Philippines has identified the central Philippines super region as the prioritized areas for tourism development. All the proposed project areas are included in the region. Therefore, the targets of the project are appropriate.**
- **The project will target 11 provinces, covering more than 100 LGUs that have tourist destinations and/or sufficient number of accommodation establishments. As a pilot project, the number of the target LGUs is also appropriate.**
- **Tourism can be an important thrust of many LGUs given its potential as a strategy for income generation and creation of employment opportunities. Yet, the importance of tourism is not well recognized by many LGUs. This is manifested in the fact that many LGUs do not have fully functional tourism office staffed by permanent officers and allocated budget is low. The project will provide reliable tourism statistics and planning capabilities to the LGUs that would help local executives understand potentials and opportunities for tourism development and take actions.**
- **Tourism statistics is the basis for any tourism development activities. It is the felt need of the LGUs to obtain reliable data made available in a timely manner. Therefore, it is the rationale of the project to primarily focus on tourism statistics development.**
- **Currently, JBIC is supporting the project that mainly aims at improving access and quality of destinations through infrastructure development. This project would help LGUs generate necessary statistics and develop planning capacity to further promote tourist destinations. Therefore, it is expected the two projects would create synergy effects on the promotion of tourist destinations in the target areas.**

#### **Effectiveness**

- **The scope of the project and the outputs and their indicators are appropriate; therefore, it is expected that the project can achieve the project purpose and produce good outputs. The project purpose is the development and improvement of the capacity of DOT and LGUs to formulate tourism development plans by enhancing tourism statistics development. In order to achieve the project purpose, the project has the following two pillars:**
  - (1) **Improved capacity of the staff in DOT and LGUs in tourism statistics development and tourism planning development**
  - (2) **Organizational strengthening and institutional development of DOT and LGUs**



Under the first pillar, four outputs to be produced by the project and their indicators are as follows:

No.	Outputs	Indicators
1-1	DOT and LGU staff gain knowledge in tourism statistics.	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Proportion of the participants who passed test after each training course</li> <li>● More than 70% of the licensed AEs submit reports to LGUs periodically.</li> </ul>
1-2	DOT and LGU staff gain knowledge and know-how in tourism development planning, marketing and investment planning	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Proportion of the participants who passed test after each training course</li> </ul>
1-3	LGUs are able to collect, process and analyze tourism statistics and write up reports.	<ul style="list-style-type: none"> <li>● All the participating LGUs report to DOT in a timely manner.</li> <li>● The provincial offices produce analysis reports in a timely manner and make reports available for distribution.</li> </ul>
1-4	DOT and LGUs are able to develop tourism development plans, marketing and investment plans.	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Number of tourism related planning documents produced and endorsed by LGUs</li> </ul>

In order to achieve the above-mentioned goals and ensure sustainability, the project needs to support the organizational strengthening and institutional development of DOT and LGUs. Under the second pillar, five outputs to be produced by the project and their indicators are as follows:

No.	Outputs	Indicators
2-1	"Tourism statistics development guide to tourism officer" is developed to standardize bottom-to-top level tourism data gathering and reporting system.	<ul style="list-style-type: none"> <li>● The guidebook is developed and distributed to LGUs.</li> </ul>
2-2	Data management system is functional at LGUs and DOT.	<ul style="list-style-type: none"> <li>● All the participating LGUs and DOT follow standardized procedures and formats instructed by the project.</li> </ul>
2-3	The DOT-JICA tourism statistics manual for LGUs is updated.	<ul style="list-style-type: none"> <li>● The manual is updated and distributed to LGUs.</li> </ul>
2-4	Cooperation among DOT and LGUs and other stakeholders in tourism sector is strengthened	<ul style="list-style-type: none"> <li>● All the participating LGUs sign MOU with DOT/the Project.</li> <li>● Number of LGUs issued ordinance to compel AEs to submit reports to LGU</li> <li>● Number of LGUs established tourism office, appointed tourism officer and appropriate a budget for tourism statistics related activities</li> </ul>
2-5	Training modules for tourism statistics and tourism development planning and marketing and investment planning are developed.	<ul style="list-style-type: none"> <li>● The training modules developed and accepted by DOT</li> </ul>



2-6	The outputs of the project are promoted to other LGUs with tourism destinations.	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Number of the LGUs participated in the national tourism conference</li> <li>● Number of the LGUs that express interest and commitment in replicating the project's activities (e.g. organizing training, conducting surveys and issuing ordinance, etc.)</li> <li>● Plans and statistics publicized via websites of DOT and provinces</li> </ul>
-----	--	---

More than 100 LGUs will participate in the three training courses (Basic training in tourism statistics, advanced training in tourism statistics and training for tourism development planning, tourism marketing and investment planning). After each training course, they will produce tangible outputs through the mentoring and monitoring sessions. In the meantime, the project will help develop the enabling environment in the participating LGUs for the development of tourism statistics and planning activities. Also, the project will standardize and institutionalize the project activities through the introduction of a manual and guidebook for tourism officer, development of training modules and data management system.

- To what extent the project can achieve the project purpose will rely with the following internal and external factors:
  - Commitment and willingness of the participating LGUs in project activities
  - Cooperation of accommodation establishments
  - Appropriate screening of participants in training
  - Retention of the trainees for post-training activities

The project will take several measures to encourage active participation of important stakeholders and reduce external risks as indicated in the PDM. This will help ensure the viability of the project activities.

### Efficiency

- The proposed implementation schedule of the project secures sufficient lead time from training to the finalization of outputs. DOT will be able to monitor project progress. The local coordinator(s) recruited by the project will also support and facilitate field activities. Therefore, the project can be implemented smoothly.
- There are critical paths in the PO. The project needs to ensure that certain activities will be complete before proceeding to next steps. Such critical paths are identified as follows:
  - Development of bottom to top data management system, revision of the tourism statistics manual, signing of MOU, orientations to local executives and seminars for accommodation establishments before starting training activities.
  - Completion of the monitoring report on institutional development of LGUs before mentoring
- Currently, there is no direct, external assistance provided to DOT in the field of tourism

statistics. Therefore, the project will not overlap with other external agencies' activities. Cooperation with the JBIC supporting project and assistance from the United Nations World Tourism Organization (UNWTO) would facilitate project implementation.

### **Sustainability**

- In the project, the participating LGUs will obtain knowledge and know-how about tourism statistics and planning through mentoring and monitoring. Therefore, the sustainability is high in technical aspects. The organizational sustainability will rely with the following factors:
  - Consistent support of local executives for tourism statistics development
  - Existence of institutional mechanism for data collection and reporting supported by legislative order or ordinance
  - Appropriation of a budget and allocation of permanent staff for the tourism officer post.
  - Standardized procedures for data collection and reporting

The project includes the activities (e.g. MOU with LGUs) in the PDM, taking account of the above-mentioned factors so that the project can sustain the outputs of the project.

- The training modules developed by the project must be promoted to training service providers such as Local Government Academy (LGA) to ensure sustainability because provision of training is not a mandate of DOT.

### **Impact**

- The overall goal of the project is the sustainable growth of the tourism sector by improving the institutional mechanism for recording, collecting and disseminating tourism statistics. It is uncertain to what extent the project can directly impact the growth of the tourism sector. Yet, the project covers major tourist destinations. If the plans developed by the project is implemented and destination specific tourism statistics are made available to the private sector, the project's attributions to the achievement of the overall goal can be significant.
- The project's outputs should be rolled out to other LGUs with good potential for tourism development. DOT will organize the second national tourism conference at the end of the project period. In the conference, the project will encourage these LGUs to develop tourism statistics by presenting good practices and important results of the project. DOT will also identify the LGUs that show interest in and commitment for replication of the project.

Another expected impact is the improved availability and accessibility of reliable and useful tourism statistics to the private sector, educational institutions as well as the planning officers in LGUs.

**RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN THE CONCERNED AUTHORITIES OF THE GOVERNMENT  
OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES  
AND  
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY  
ON  
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
DEVELOPMENT OF TOURISM STATISTICS SYSTEM  
FOR LOCAL GOVERNMENT UNITS**

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) had a series of discussions with the Philippine authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by JICA and the Government of the Republic of the Philippines for the successful implementation of the Project “Development of Tourism Statistics System for Local Government Units” (hereinafter referred to as “the Project”).

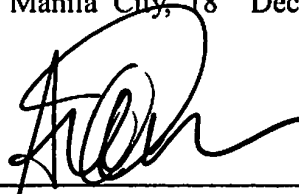
As a result of the discussions, JICA and the Philippine authorities concerned agreed on the matters referred to in the documents attached hereto.

Manila City, 18<sup>th</sup> December, 2008



---

NORIO MATSUDA  
Chief Representative  
Japan International Cooperation Agency  
Philippine Office



---

JOSEPH DURANO  
Secretary  
Department of Tourism  
The Republic of the Philippines

**ATTACHED DOCUMENT**

**COOPERATION BETWEEN JICA AND THE GOVERNMENT OF THE  
REPUBLIC OF THE PHILIPPINES**

**I. GENERAL AGREEMENT**

1. The Government of the Republic of the Philippines will implement the Project in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan, which is given in ANNEX I, and the Project Design Matrix (PDM) as shown in ANNEX II. The PDM is the summary document of the Overall Goal, Purpose, Outputs and Activities of the Project and will be used as a tool for the monitoring and evaluation of the Project. A tentative Plan of Operation (PO) is indicated in ANNEX III.

**II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA**

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, JICA will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

1. **Dispatch of Japanese Experts**  
JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in ANNEX IV.
2. **Local Consultants**  
Local consultants will be hired for services including data management system development and coordination
3. **Technical Exchange Program of Philippine Personnel**  
JICA will provide technical exchange program in a third country for qualified Philippine personnel.
4. **Venues, accommodations and incidental expenses necessary for the conduct of trainings and workshops.**
5. **Provision of necessary computer equipment and software for the training program.**

*gn.*

- 1 -

*Al*

### III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

1. The Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all concerned authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Government of the Republic of the Philippines will ensure that the technologies and knowledge acquired by Philippine nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Republic of the Philippines.
3. The Government of the Republic of the Philippines will grant in the Philippines privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in Section II-1. of this Document and their families, which are no less favorable than those accorded to experts of third countries working in the Republic of the Philippines under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme, and as provided under applicable laws, regulations, or policies of the Republic of the Philippines.
4. The Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by Philippine personnel from the technical exchange program in third country will be utilized effectively for the sustainability of the Project.
5. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of the Philippines, the Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to provide at its own expense:
  - (1) Services of Philippine counterpart personnel as listed in ANNEX V;
  - (2) Venues and facilities as listed in ANNEX VI;
  - (3) Transportation expenses for the participation in trainings, workshops, mentoring activities and national tourism conference;
  - (4) Operating expenses necessary for the implementation of the Project;
  - (4) Assistance to find suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families.

Sh.

- 2 -

All

#### IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Department of Tourism, as the proponent and project holder, will be the responsible Philippine government agency for the administration and implementation of the Project.
2. The Undersecretary for Tourism Planning and Promotions, Department of Tourism, as the Project Director, will bear responsibility for coordinating overall activities of the Project.
3. The Director of the Office of Tourism Development Planning, Department of Tourism, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and coordination matters of the Project.
4. The Project Staff, whose members shall be designated at the commencement of the Project, shall manage the implementation of the Project activities such as the conduct of trainings in cooperation with Japanese Experts.
5. For the effective and successful implementation of the technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee (JCC) for the Project will be established whose functions and composition are described in ANNEX VII.
6. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to Philippine counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.

#### V. JOINT EVALUATION

An evaluation shall be conducted jointly by JICA and the Philippine authorities concerned at the start of the second year of implementation. Likewise, a final evaluation shall be done during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

#### VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of the Philippines, through its implementing agency, shall bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from or occurring in the course of the performance of their duties, except when, after consultation between that implementing agency and JICA, it is established that such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the Japanese experts.

*Jh.*

- 3 -

*Al*

## VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and the Government of the Republic of the Philippines on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

## VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the Filipino people, the Government of the Republic of the Philippines will take appropriate measures to make the Project widely known to the Filipino people.

## IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the Project under this Record of Discussions will be three (3) years from the date when the first Japanese expert is dispatched.

## X. ANNEXES

ANNEX I	MASTER PLAN
ANNEX II	PROJECT DESIGN MATRIX
ANNEX III	TENTATIVE PLAN OF OPERATION
ANNEX IV	LIST OF JAPANESE EXPERTS
ANNEX V	LIST OF PHILIPPINE COUNTERPARTS
ANNEX VI	LIST OF VENUES AND FACILITIES
ANNEX VII	THE JOINT COORDINATING COMMITTEE

*Gh.*

*Al*

## ANNEX I

### MASTER PLAN

#### 1. Overall Goal

Sustain the growth of the tourism sector by improving the institutional mechanisms for recording, collecting and disseminating tourism statistics

#### 2. Project Purpose

Development and Improvement of DOT's and LGUs' capacity to formulate tourism development plans by enhancing database-building skill

#### 3. Outputs

Capacity Development of DOT and LGUs in tourism statistics development and tourism planning development

Organizational strengthening and institutional development of DOT and LGUs

Updated Tourism Statistics Manual for LGUs, Training Modules and Tourism Officer's Guidebook

Tourism Database Management System

#### 4. Activities

##### 4-1 Preparatory Activities

Kick-off meetings with stakeholders in target areas

##### 4-2 Capacity Building on Tourism Development

Screening of trainees

Basic Tourism Statistics Training and Mentoring

Advanced Tourism Statistics Training and Mentoring

Tourism Development Planning Training and Follow-up Workshops

Marketing and Investment Planning Training and Follow-up Workshops

Monitoring of follow-through activities

Evaluation of Training Courses

Technical Exchange Program

Selection of qualified participants

##### 4-3 Organizational strengthening and institutional development

Orientation of local chief executives

Execution of Memorandum of Understanding (MOU) with LGUs

Seminar for accommodation establishments

Development of Training Modules

Review and revision of tourism statistics manual for LGUs

Development of standard tourism data management system

Production of Guidebook for Tourism Officers

Monitoring of institutional development of LGUs in compliance with MOU

National Tourism Conference

##### 4-4 Project Evaluation

#### 5. Project Sites

The Provinces of Cebu, Bohol, Siquijor, Palawan, Negros Oriental, Negros Occidental, Guimaras, Iloilo, Capiz, Antique, and Aklan (including Boracay)

*Handwritten signature*

- 5 -

*Handwritten signature*



ANNEX II

DOT/JICA Technical Cooperation Project  
Capacity Development on Tourism Statistics in Local Government Units  
PROJECT DESIGN MATRIX

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p><b>Goal</b> Sustain the growth of the tourism sector (by improving the institutional mechanism for recording, collecting and disseminating tourism statistics)</p>	<p>Growth of visitor arrivals and other tourism indicators (e.g. AE occupancy, tourism-related activities)</p>	<p>Regional Travelers in the Philippines Reports, Local Destinations Data Reports,</p>	<p>The LGUs are utilizing the tourism statistics database.</p>
<p><b>Purpose</b> To improve the mechanisms for collecting, recording, reporting, and disseminating tourism statistics in a reliable, accurate, and timely manner and develop the capacities of the DOT and LGUs in formulating tourism development plans</p>	<p>Sound Action Plan for Tourism Development Planning Placement of the Standard Data Gathering and Reporting System for LGUs with counterpart database software</p>	<p>Provincial/LGU Action Plan for the formulation of Tourism Development Plans Memorandum of Agreements between LGUs and DOT, Standard LGU Data Gathering Reports</p>	<p>LGUs of selected pilot areas are supportive in implementing the Standard System and in formulating their master tourism development plan.</p>
<p><b>Outputs</b> 1. Capacity Development of the DOT and participating LGUs in the following areas:</p>	<p>Number of agencies/LGUs in regular coordination with Provincial Tourism Offices / DOT Regional Offices</p>	<p>Regular Tourism Statistical Reports from LGUs</p>	<p>All trainings and mentoring sessions are conducted as planned..</p>
<p>i. Tourism Statistics (including the establishment of bottom-to-top level Standard Tourism Statistics System) ii. Tourism Development Planning iii. Tourism Marketing and Investments</p>	<p>Participation of counterpart personnel in the trainings, mentoring sessions, and National Conference Standard Tourism Statistics System in place Application of Statistics in Tourism Development Plans and Programs</p>	<p>Training Registration Records, Official Proceedings/Reports Number of Participants Guidelines/Procedures for the Standard Tourism Statistics System; Tourism Statistical Reports of LGUs Local Tourism Development Plans</p>	<p>All reviews and development sessions are conducted as planned..</p>
<p>2. Updated/Revised Tourism Statistics Manual for LGUs and Crafted Training Modules on Tourism Statistics, Tourism Development Planning, and Tourism Marketing and Investments respectively 3. Established Tourism Statistics Database System</p>	<p>Revised Manuals Crafted Training Modules Physical Database System in place in the LGUs Standard database system employed by LGUs</p>	<p>Reports on the Reviews conducted Published Manuals and Training Modules Ocular Visit, Inventory and Status Reports Number of regular Tourism Statistical Reports of LGUs Frequency, quantity and quality of reports generated by LGUs</p>	<p>Database system successfully installed at LGUs</p>

91.

Narrative Summary Activities	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>1 Capacity Building Trainings on Basic and Advanced Tourism Statistics, Tourism Development Planning, and Tourism Marketing and Investments</p> <p>Mentoring Sessions on Basic and Advanced Tourism Statistics Data Gathering and Reporting System</p> <p>Formulation of Local Tourism Destination Strategies</p> <p>Compilation of Tourism Statistical Reports</p> <p>Conduct of Training in Japan and/or Technical Exchange Program in Third Country as necessary</p>	<p>Number of trainings conducted</p> <p>Number of mentoring sessions conducted</p> <p>Number of Local Tourism Destination Strategies Conducted</p> <p>Number of Statistical Reports Collected</p> <p>Number of trainings in Japan and/or Technical Exchange Program/s held</p> <p>Conference held</p> <p>Evaluation conducted</p>	<p>Training Reports, Training Schedule, Training Program</p> <p>Mentoring Session Reports, Session Schedules</p> <p>Formulated Local Tourism Destination Strategies, Tourism Development Plans</p> <p>Summary of Tourism Statistical Reports</p> <p>Training Reports, Training Schedule, Training Program</p> <p>Conference Documentation, Invitations sent out, Venue reservation</p> <p>Evaluation Reports, Proceedings</p> <p>Proceedings of the Review conducted</p> <p>Proceedings of the Review conducted</p> <p>Proceedings of the Sessions conducted</p>	<p>DOT and/or LGUs are able to provide their respective counterpart funding for the activities.</p>
<p>Holding a National Tourism Conference</p> <p>Evaluation of the Project</p> <p>Review and updating of the current Tourism Statistics Manual for LGUs</p> <p>Review and updating of the current Basic Tourism Statistics Training Module</p> <p>Development of Training Modules on Advanced Tourism Statistics, Tourism Development Planning, and Tourism Marketing and Investments respectively</p> <p>Publication of the updated/revised Tourism Statistics Manual for LGUs and the crafted Training Modules</p>	<p>Schedule, Participants, Frequency and Contents of Review</p> <p>Schedule, Participants, Frequency and Contents of Review</p> <p>Schedule, Participants, Frequency and Contents of Development Sessions</p> <p>Number of published manuals and modules</p>	<p>Proceedings of the Review conducted</p> <p>Contract with Publishing company</p>	<p>DOT and/or LGUs are able to provide their respective counterpart funding for the activities.</p>
<p>3 Development of a Tourism Statistics Database System</p> <p>Installation of the Tourism Statistics Database System at the local areas of participating LGUs</p> <p>Training and Monitoring on the Tourism Statistics Database System</p> <p>Monitoring of LGU usage and implementation of the Tourism Statistics Database System</p>	<p>Established Database System</p> <p>Installation done</p> <p>Number of trainings and monitoring schedules; Participants to the Training</p> <p>Number of Monitoring Visits</p>	<p>Database System Guidelines/Procedures</p> <p>Database Systems Report</p> <p>System-generated Statistical Reports</p> <p>Installation Schedule; Installation Report</p> <p>System-generated Statistical Reports by LGUs</p> <p>Training and Monitoring Reports</p> <p>Monitoring Reports</p>	<p>No problem is encountered in the provision of Equipment needed for the Database System.</p>
<b>PRECONDITION</b>			<p>Department Order designates the composition of the Technical Working Group.</p> <p>Memorandum of Agreement is signed between DOT and participating LGUs.</p>

91.

ANNEX III

TENTATIVE PLAN OF OPERATIONS

Activities	1st Year												2nd Year												3rd Year											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
<b>1 Preparatory activities</b>																																				
Inception report																																				
Kick-off meetings with stakeholders in target areas																																				
<b>2 Capacity building on tourism development</b>																																				
Preparations (Screening of trainees & logistic arrangements)																																				
Basic tourism statistics training																																				
Conduct of training																																				
Mentoring and follow-through activities																																				
Advanced tourism statistics training																																				
Conduct of training (1st Batch)																																				
Mentoring and follow-through activities																																				
Compendium of Destination's Tourism Statistics																																				
Conduct of training (Succeeding Batches)																																				
Mentoring and follow-through activities																																				
Compendium of Destination's Tourism Statistics																																				
Tourism Development, Marketing and Investments Planning																																				
Conduct of training																																				
Workshop and follow-through activities																																				
Monitoring of follow-through activities																																				
Technical Exchange Program																																				
Evaluations of training courses																																				
<b>3 Organizational strengthening and Institutional development</b>																																				
Institutional development																																				
Orientation to local executives																																				
MOU with LGUs																																				
Seminar for Accommodation establishments																																				
Organizational strengthening																																				
Development of training modules																																				
Review and revision of tourism statistics manual																																				
Development of standard tourism data management systems																																				
Production of guidebook																																				
Monitoring of institutional development of LGUs in compliance with MOU																																				
National Tourism Statistics Conference																																				
Logistics Preparation and Pre-Conference Meetings																																				
National Conference																																				
Project Evaluation																																				
<b>EXPERTS ASSIGNMENT</b>																																				
Tourism Statistics Expert																																				
Tourism Development Planning Expert																																				
Training Management Expert																																				
<b>Subtotal</b>																																				

**ANNEX IV**

**LIST OF JAPANESE EXPERTS**

1. Expert in Tourism Statistics
2. Expert in Tourism Development Planning
3. Expert in Training Management

OK.

ALL

- 9 -

**ANNEX V**

**LIST OF PHILIPPINE COUNTERPARTS**

1. **Project Director**  
**Undersecretary for Tourism Planning and Promotions**
  
2. **Project Manager**  
**Director for the Office of Tourism Development Planning**
  
3. **Project Staff from DOT Central Office**  
**From the Tourism Research and Statistics Division:**  
**Division Chief**  
**One Tourism Operations Officer II**  
**One Data Analyst**  
**One Computer Programmer**  
  
**From the Regional Development Planning Division:**  
**Division Chief**  
**One Tourism Operations Officer II**
  
4. **Project Staff from the participating DOT Regional Offices**  
**Director of DOT Region IV and two (2) regional planning/statistics staff**  
**Director of DOT Region VI and two (2) regional planning/statistics staff**  
**Director of DOT Region VII and two (2) regional planning/statistics staff**

*M.*

*Al*

**ANNEX VI**

**LIST OF VENUES AND FACILITIES**

1. Office space and facilities necessary for JICA Experts at the Department of Tourism (DOT) Central Office and participating DOT Regional Offices
2. Venues and necessary facilities for the Project's mentoring and monitoring activities
3. Other facilities mutually agreed upon as necessary

*A.*

*Am*

- 11 -

## ANNEX VII

### THE JOINT COORDINATING COMMITTEE

#### 1. The Function

For effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee (JCC) will be established to exercise and perform oversight functions, to wit;

- (1) Approval of Annual Implementation Plan of the Project;
- (2) Monitoring of the Project;
- (3) Discussions on various issues and problems related to the Project and the crafting of recommendations necessary thereof.

#### 2. The Members

##### Philippine side:

- (1) Chairperson, Undersecretary for Tourism Planning and Promotions, Department of Tourism
- (2) Vice-Chairperson, Undersecretary for Local Government, Department of Interior and Local Government
- (3) Member, Director of Office of Tourism Development Planning, DOT
- (4) Member, DOT Regional Director of Region IV
- (5) Member, DOT Regional Director of Region VI
- (6) Member, DOT Regional Director of Region VII

##### Japan side:

- (1) Chief Representative, JICA Philippine Office
- (2) Team Leader and Members, JICA Japanese Experts Team for the Project

##### Note:

- (1) Officials of the Embassy of Japan may attend the JCC meetings as observers.
- (2) Persons who are invited by the Chairperson may attend as observers.
- (3) The Project Staff will serve as the JCC Secretariat.

*h.*

*Acc*

### 3. 面談記録

面談日	2008年7月21日
訪問先	Office of Tourism Development Planning, DOT
面談者	Ms. Milagros Y. Say, Chief, Tourism Research and Statistics Division (TRSD) Mr. Ramil S. Basuel (TRSD)
訪問者	前原、井上、Alfred、井田
面談内容	
カウンターパートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>DOTでは統計部門と地域計画部門のスタッフ8名がカウンターパート(C/P)になる予定。プロジェクト活動は日常的な業務内容と共通する部分が多いので、C/Pの関与度は十分確保できると思われる。不足する場合は他のスタッフを動員することも可能。</li> <li>現在、DOTでは用途に応じて、FoxPro、SPSS、Excelを活用している。ソフトウェアの操作や統計分野の専門性については問題ない。</li> </ul>
観光統計のデータベースについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、DOT全体の統一的な統計データのプログラムを外注で開発中。データ管理システムは、LGU、Province、DOTの3つのレベルで違いがある。LGUがデータ・フォームに沿って入力を行い、Provinceに提供、Provinceはデータ集計・加工・分析を行い、報告書にまとめる。DOTは報告書の集約と広報、集計データをDOTの統計プログラムに反映させるというフローを想定している。LGUレベルではExcelなどのSpreadsheetを活用するほうがよい。Provinceではデータ量が多くなるので市販のデータベース管理ソフトがよいかもしれないが、DOTのシステムとの整合性を検討する必要がある。LGU、Provinceとも、誤操作を防ぐためにテンプレートを活用したほうがよい。</li> </ul>
マニュアル整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>久米専門家と開発したマニュアルを実際に試行したのは、Part I (Accommodation Establishments: AEs) までで、Visitor Surveyなど未実施。プロジェクトでPart IIも実施して、このマニュアルを改訂する必要がある。</li> </ul>
研修について	<ul style="list-style-type: none"> <li>Advanced TrainingはマニュアルのPart IIをメインとしたもので、Basic TrainingではPart Iがメインになる。Basic Trainingでは観光統計の意義とコンセプト、実施体制や方法(フォーマットの記入方法など)、報告書の概要など含めたベーシックな内容も必要。基礎コースでも座学だけでなく、ちょっとした実際の調査も入れて実体験したいという参加者のニーズがあるので、その辺も反映させる必要がある。</li> <li>観光統計についてはStatistical Research and Training Center、プランニングについてはLocal Government Academyなどが研修サービスを提供できる。久米専門家と作成したマニュアルは、Centerの作成したマニュアルの簡易版で、Centerには十分なマニュアル作成能力があるが、フィーが高い。</li> </ul>
プランニングについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>本プロジェクトのプロジェクト目標にある“Action Plan for Tourism Development Plan”が想定するレベル・内容はまだ明確でない。</li> <li>DOTでは、Tourism Planning、Marketing、Investment Planningなどのトピック別に、LGU対象のワークショップを開催している。観光統計の報告書ができれば、大枠にはなるが観光開発のアクションプランを作成することは可能と思われる。</li> </ul>



	る。
プロジェクト実施上の課題・留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計データの収集・蓄積・活用については、LGU、Province、Region によってかなりレベルの違いがある。体制として観光振興部門を設置している Cebu や Bohol のようなところもあるが、まだ部門が確立していないところもある。データ収集も LGU ではなく Region が行っているところがある。データ管理もデータベースを自前で管理しているところがある一方で、手作業で集計している場合もある。標準化したシステムを導入するための事前の調整が必要。</li> <li>DOT は地方分権化で既に宿泊施設の認定以外の権限（営業許可など）を LGU に移管しているため、DOT が直接 LGU に業務を指示することができないので、最終的にプロジェクトで提案する統計システムの導入と維持管理は LGU の意欲とキャパシティによる。ただし、短期専門家の支援を得て Bohol と Cebu で AEs の統計システム導入を試行したが、LGU は非常に積極的に受け入れたので、それほど導入に関しては問題ないと思う。Cebu と Bohol では試行によって意欲が高まり、Bohol では研修未実施の LGU に対して Provincial Council の予算を得て独自に研修を行うなどの成果も生まれた。研修の結果、AE のデータを提供する LGU も増えたが、研修だけでは限界がある。</li> </ul>
想定されるプロジェクトの効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>Region 11 の要請で、久米専門家と開発した研修モジュールで研修を実施した。本プロジェクトで開発した研修モジュールをパッケージ化して PR すれば、独自予算で研修を実施する Province や LGU もあると思う。</li> <li>研修モジュールやマニュアルが大学・専門学校の観光学科のカリキュラム（観光統計）に加えてもらえれば、教育機関にとっても就職活動で有利になるし、地方自治体にとっても卒業生が標準的な観光統計の方法を理解しているので即戦力化できる。標準化されたマニュアルを普及するという意味でもメリットがあると思う。</li> </ul>
依頼事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>DOT に導入予定のデータベースシステムの概要</li> <li>観光セクターのステークホルダーのリストと活動内容</li> <li>DOT の組織図とスタッフ配置表</li> </ul>

面談日	2008 年 8 月 5 日
訪問先	Regional Planning Division, DOT-Central
面談者	Mr. Erwin Balane, Chief, RDPD Ms. Milagros Y. Say, Chief, Tourism Research and Statistics Division (TRSD) Mr. Ramil S. Basuel (TRSD)
訪問者	Alfred、井田
面談内容	
カウンターパートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>Regional Planning Division から 2 名参加。プロジェクトの概要は Director と Ms. Milagros から十分説明を受けているので、Regional Planning Division の役割も理解している。</li> </ul>

<p>プランニングについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光分野の計画策定の問題は、計画自体が客観的な数字に基づいていないことと、知事が代わるとマスタープランがあってもほとんど尊重されずプログラムが実施されないのが、数年経つと有名無実化してしまうこと。</li> <li>• 現状として Planning Division の役割は、Region のプログラムのモニタリングがメイン。やる気のある LGU が個別の観光振興プログラムやプロジェクトを作成するのを支援するというのが DOT の役割として効果的だと思う。そのためにも、プロジェクトで観光開発計画、マーケティングプラン、事業計画の作り方のガイドブックやマニュアルを作成してもらえれば、Planning Division がその後のサポートがやりやすい。</li> <li>• 過去、LGU を対象に Marketing や Tourism Development Planning のワークショップを開催している。ただし、研修に適任者が派遣されていなかったり、Planning のワークショップと Marketing のワークショップの参加者が異なるといったことが多かった。</li> <li>• 観光振興のプランニングでは、リゾート、温泉、エコツアーなど地域によってニーズが異なる。そうした個別ニーズに対応するのが難しい (DOT 側にノウハウがない)。</li> <li>• 2003 年に ArcView を入れて、GIS の活用を図った。操作方法のトレーニングを受けたが業務化しなかったため、使われなくなった。</li> </ul>
-------------------	---

面談日	2008 年 7 月 23 日
訪問先	Lunch meeting in Cebu
面談者	<p>Mr. Eduardo Jarque, Undersecretary, Tourism Planning and Promotions          Mr. Rolando Cañizal, Director, Office of Tourism Development Planning, DOT          Ms. Milagros Y. Say, Chief, Tourism Research and Statistics Division (TRSD)          Mr. Ramil S. Basuel (TRSD)</p>
訪問者	Alfred、井田
面談内容	
プロジェクトコストの負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクト実施にかかるコストのうち、DOT スタッフの旅費・日当などは DOT が負担する。研修については JICA をお願いしたい。サイトが多く日本人専門家が不在の期間が出るので、ローカルコンサルタントを雇用してモニタリングや業務促進できるとよい。研修を外部委託するのはよくない。講師やマニュアル開発でスポット的に活用するほうがよい。</li> </ul>
観光統計のデータベースについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• LGU レベルではできるだけ簡易なフォーマット、データベースでないと継続して活用してもらえない。Excel あるいは Access など活用したほうがよい。今回対象となるデータは全国レベルの統計データではなく、特定の観光地の統計データ整備なので、DOT で導入予定のデータベースシステムとの整合性についても問題ない。</li> </ul>

研修・マニュアル整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• LGU を対象とした研修では参加者の選定に Province や Municipality が関与するので、スクリーニング、Province/Municipality との協議に時間をとって、適切な研修者が参加できるようにしてほしい。</li> <li>• 研修場所も職場で実施すると他の業務や電話などが入り、研修に集中できないことが多い。できれば、1 週間程度、別の施設で集中してやったほうがよい（例えば、Bohol は Cebu、Cebu は Bohol など）。</li> </ul>
プランニングについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 優先度としては、LGU がきちんと観光統計の重要性を理解して、継続してデータ収集を行うことなので、観光開発計画、投資計画、マーケティングプランなどを教える意味は、観光統計が計画策定に不可欠であることを体感してもらうこと。実際のプランはその次の段階になる。</li> </ul>
想定されるプロジェクトの効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクト終了後、研修プログラムの継続性を確保するためには、プロジェクトで開発したプログラムを Local Government Academy に引き継ぐのがよいと思う。他の研修機関もあるが、フィーが高いので LGU では実施できないのではないかと。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• JBIC プロジェクトとの関係については、技術協力プロジェクトがソフト、JBIC がハードで、分野も異なるため重複する点はないと思う。逆にあまり連動させると投入のタイミングなどが合わずプロジェクトの進捗を妨げたりする危険性がある。</li> </ul>

面談日	2008 年 7 月 23 日
訪問先	Region 7, DOT
面談者	<p>Angeli V. Lapingcao, Planning Officer, DOT 7</p> <p>Ophelia R. Marquez, Senior TOO, DOT 7</p> <p>Director, Patria Roa, RD, DOT 7</p> <p>Director, Rolando Cañizal, Director, ODTF</p> <p>Milagros Y. Say, Chief, Tourism Research and Statistics Division (TRSD)</p> <p>Ramil S. Basuel (TRSD)</p>
訪問者	Alfred、井田
面談内容	
カウンターパートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cebu Province には Tourism Office はあるが、Officer がいない。代理はいるが Political Appointee なので定期的に入れ替わってしまう。このため、PPDO スタッフを対象としたほうがよい。彼らはプランニングが業務で正規職員なのでほとんど異動しない。</li> </ul>
観光統計について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Bohol では知事が観光客数の推移に関心を示していることもあり、統計データの収集に意欲的。</li> <li>• 管轄する Province の現状は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Cebu : 53 の Municipality (9 cities+44 towns) 中、観光スポットや宿泊施設のあるところが 39。約 10 の Municipality がデータ収集をきちんとやっている。</li> <li>➢ Bohol : 48 の Municipality (1 city+47 towns) 中、データ収集を依頼している</li> </ul> </li> </ul>

	<p>のは 21。このうち、きちんと収集しているのは 6。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光統計の課題は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ LGU からの月例報告が不定期で全体をまとめるのに数ヵ月遅れということもある。</li> <li>➢ LGU がきちんとデータ収集していない宿泊施設については Region が直接対応しなければならない。</li> <li>➢ DOT へ提出するデータが税務署などと共有されるのではないかといった懸念から、協力を得るのが難しい宿泊施設がある。DOT が認定する宿泊施設は対応してくれるが、それ以外の施設にはプレッシャーがかからない。Hotel Association といった業界団体はあるが、幹事会社の秘書が事務局を兼務でいるだけなのでコーディネーションはしてくれるが、彼らも加盟している宿泊施設にプレッシャーをかけることはできない。</li> </ul> </li> </ul>															
<p>研修について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の対象は以下のとおり。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="392 842 1350 1124"> <thead> <tr> <th>Province</th> <th>対象 LGU</th> <th>Phase I の Basic Training 済みの LGU</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cebu</td> <td>39</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>Bohol</td> <td>21</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>Negros Oriental</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Siquijor</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Phase I の教訓として、研修参加者の選定が弱かった点があげられる。候補者選定では LGU の現状をよく見て適切な人材を選ぶ必要がある。</li> </ul>	Province	対象 LGU	Phase I の Basic Training 済みの LGU	Cebu	39	22	Bohol	21	11	Negros Oriental	17		Siquijor	2	
Province	対象 LGU	Phase I の Basic Training 済みの LGU														
Cebu	39	22														
Bohol	21	11														
Negros Oriental	17															
Siquijor	2															

面談日	2008 年 7 月 23 日
訪問先	Cebu Provincial Office
面談者	<p>Angie Lapingcao, Planning Officer, DOT 7  Mely Labarejos, Planning Officer IV, PPDO-Cebu  Ophelia R. Marquez, Senior TOO, DOT 7  Adolfo V. Quiroga, PPDC, PPDO-Cebu  Cirilo Abrenica, Jr., DC, PPDO-Cebu  Milagros Y. Say, Chief, Tourism Research and Statistics Division (TRSD)  Ramil S. Basuel (TRSD)</p>
訪問者	Alfred、井田
面談内容	
カウンターパートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C/P としては 4 名（PPDO から 3 名、GIS 担当 1 名）が関与する。</li> </ul>

観光統計について	<ul style="list-style-type: none"> <li>Province が把握しているデータは、宿泊施設の部屋数、宿泊数、観光スポットマップと入場者数（入場料を取っている施設）など。AEs データの収集について、City は問題ないが、Town はきちんと対応できていないところがある。</li> <li>データ管理は Excel を利用。データベース・アプリケーションは活用していない。ライセンス登録している PC は1台（OS:XP, Office 2003）。</li> <li>インターネット環境が整備されている LGU は少ない。Fax で Province とやり取りする。</li> </ul>
研修について	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト後も Province と LGU がコストを負担して研修を継続することは可能ではないかと思う。</li> </ul>
プランニングについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>Province 全体の観光開発プランはない。観光地の開発プランとしては、“Malapascua Island Eco-tourism Development Plan 2002”、“Kawasan Falls Eco-tourism Development Plan (2008-2017)”がある。これらの計画は PPDO を中心に Technical Working Group が作成した。</li> <li>Kawasan では Phase I の統計データを計画・モニタリングに活用しようとしている。他の LGU でも観光地の開発計画づくりに関心をもつようになった。</li> <li>Cebu では Council など民間が活発で、Province はコミュニティ開発、生計向上といった視点で LGU の観光振興を支援している。</li> <li>プロジェクトで収集した観光統計データを GIS (Arcview)で地理情報として提供できたらいい。</li> <li>PPDO と LGU の Planning Officer の月例会議があるので、この場を利用して、観光関係のプランニングを協議するのがよいのではないか。</li> </ul>
プロジェクト実施上の課題・留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>LGU の協力を確認するために、MOU を結んだほうがよい。</li> <li>宿泊施設の協力は不可欠だが、Province としては依頼するだけで強制力はない。ホテルオーナー・マネージャーへの働きかけが必要。</li> </ul>

面談日	2008年7月24日
訪問先	BTO and Bohol LGUs, Chocolate Hills Complex
面談者	Angeli Lapingcao, Planning Officer, DOT 7 Josephine R. Cabarrus, OIC, Bohol Tourism Office (BTO) Marisel B. Mandin, LOBOC-Staff, LOBOC Tourism Jovelyn M. Tongco, Operation Manager, Choco Hills Complex Milagros Y. Say, Chief, Tourism Research and Statistics Division (TRSD) Ramil S. Basuel (TRSD)
訪問者	Alfred、井田
面談内容	

カウンターパートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>Province レベルでは、PPDO のなかに Bohol Tourism Office があり、4 名が候補 (2 名は Basic Training 済み)。</li> </ul>
観光統計について	<ul style="list-style-type: none"> <li>Province、Municipality ともデータ管理は Excel。プロジェクトで新規に PC の購入が必要。</li> <li>LGU との連絡は Fax。インターネットの活用は LGU の一部のみ。</li> </ul>
研修について	<ul style="list-style-type: none"> <li>Phase I では Province の Planning Officer が参加したが、実際のデータ管理担当者ではないので、あまり効果的でなかった。実務担当者が参加しないと意味がない。</li> <li>Phase I では 11 の LGU から参加した。このうち、データ収集をきちんとできるようになったのは 6 つの LGU。Province がプッシュしないとなかなかデータが集まらない。月例化は難しい。</li> <li>LGU レベルで Tourism Officer が配置されているのは 7 LGU。しかし 5 名は市長が Executive Council メンバーを指名している。彼らは行政官ではなく、兼務で分野理解もない (Loboc と Chocolate Hills は行政官が Tourism Officer)。Panglao など有名な観光スポットのある LGU も Tourism Officer がいない。研修には Tourism Officer が指名する実務担当者も参加すべき。研修参加者の選定やプロジェクトへの支持を取り付けるためにも AEs や市長・知事などの理解促進が必要。</li> <li>Bohol には 60 程度しか宿泊施設がないが、点在しているので多くの LGU が含まれる。</li> </ul>
プランニングについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>Bohol の問題は、観光客が急増したが、行政が対応できていないこと。Province も LGU も環境保全など含めて長期的な視点がない。プランなしでも観光が伸びているので、Local Executive レベルでプランニングの重要性についての意識は低い。</li> </ul>

面談日	2008 年 7 月 28 日
訪問先	Palawan Provincial Office
面談者	Rutchel N. Alcantara, DSM. Operations Officer II, PGO Tourism Div. Arnold Valdez, Tourist Receptionist, PGO Tourism Div. Maribel C. Buni, Chief Tourism Operations Officer, PGO Tourism Div. Milagros Y. Say, Chief, Tourism Research and Statistics Division (TRSD) Ramil S. Basuel (TRSD)
訪問者	前原、井田
面談内容	
カウンターパートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光課は知事室直轄で、職員は 13 名 (正規 6 名、嘱託 7 名)。観光振興、研修、調査統計の 3 部門に分かれているが、課の規模が小さいのではっきりと縦割りで業務を行っているわけではない。ここは課長が正規職員なので業務の継続性は確保できる。</li> </ul>

観光統計について	<ul style="list-style-type: none"> <li>2005年4～5月に知事の要請で空港（3カ所）での出口調査を実施した（約2週間）。調査目的は主に観光の経済効果（観光客の支出）をみること。サンプル数は約500、他部署の職員も動員して合計20名で実施した。この調査はトライアルとしてやったので、その後は実施していない。</li> <li>観光統計のニーズは高い。問題はAEsに関する収集データはカバー率が低いため信頼性が低いことと、収集しているデータは総量だけなので、分析や計画に使えないこと。このため、観光課へデータ要請やデータのニーズは高いが、応えられていない。Provinceの観光開発プロジェクトのプロポーザルを提出しても、データへの信頼性が低い点がネックになって承認されないことがある。データ依頼はProvinceやMunicipalityのPlanning Officer、民間のディベロッパー、大学などの教育機関と学生などが多い。</li> <li>Palawanは24のMunicipality（1city + 23towns）があり、観光施設が多い20のMunicipalityが対象となるが、このうち、実際にデータを提供しているのは6～10程度。提出は四半期ごとだが、提出の遅れが多い。</li> <li>AEsに関するデータについては、営業許可を受けている施設が約500あるが、このうちデータ提供している施設は約20%だけ。Accreditationを受けている施設は50ほど。Puerto Princesa Cityは、Ordinanceで営業許可業者にデータ提供を義務づけているので提出率はよいが、その他のLGUからのデータがなかなかあがってこない。</li> <li>プロジェクトの対象と想定される20のMunicipalityにはTourism Officerが配置されているが、その多くが他の部署の役職を兼務している。また、この20名中、正規職員は8名でもともとPlanning Officeの出身が多い。最近、Municipalityでも観光の重要性を認識するようになり、Tourism Officeを設置しようという動きはあるが、Tourism Office設置はLGUのMandateではないので、なかなか進まない。</li> <li>データ管理はExcelを活用。データベースのアプリケーションは活用したことがない。インターネットは8つのMunicipalityで利用しているが、その他はFaxか郵送でデータ提供している。</li> </ul>
研修について	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修参加者の要件として、Planning部門か観光部門の職員に限定したほうがよい。</li> </ul>
プロジェクト実施上の課題・留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>Palawanではサーベイの際に地理的な制約条件を考慮する必要がある。観光施設は主に北Palawanにあるので対象は北部になるが、Puerto Princesa Cityから最北のLGUまでフェリーで12時間かかる。</li> <li>観光課の年間事業費は100万ペソ程度しかないので、Visitor Surveyなどコストのかからない方法でやる必要がある。</li> </ul>

面談日	2008年7月28日
訪問先	Puerto Princesa City Tourism Office
面談者	Melinda St. Mohamad, OIC-STOO, City Tourism Office

	Mildred Paglinawan, City Tourist Receptionist, City Tourism Office Milagros Y. Say, Chief, Tourism Research and Statistics Division (TRSD) Ramil S. Basuel (TRSD)
訪問者	前原、井田
面談内容	
カウンターパートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Tourism Office の職員は 29 名で 10 名が正規職員。</li> </ul>
観光統計・プランニングについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地方分権化に伴う権限委譲の議論のなかで、2001 年、Tourism Ordinance を発令した。事前にホテルなどのステークホルダーと Consultation を行ったので特に反対や反発はなかった。その後、Amendment など行われている。この Ordinance で許可要件にデータ提供が盛り込まれたので、データ収集はスムーズに行われている。Palawan の宿泊施設は全体で 60～70 程度。市内の許可業者（50 業者）は問題ないが、海岸に点在している施設からのデータ提供の遅れが問題。</li> <li>• 市長や Council Member から観光データを求める声があり、Visitor Survey をやりたいと思っている。</li> <li>• Tourism Promotion Development Plan を策定したいという声もある。特に、マーケティングの戦略・計画が必要で、そのためにも Visitor Survey などやっていく必要がある。</li> </ul>

面談日	2008 年 7 月 30 日
訪問先	Regional Office 4, DOT
面談者	Mario R. Daga, TOO II, DOT RO IV Louella Jurilla, Director, DOT RO IV Milagros Y. Say, Chief, Tourism Research and Statistics Division (TRSD) Ramil S. Basuel (TRSD)
訪問者	前原、井上、Alfred、井田
面談内容	
カウンターパートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人員的に Director と Planning の Head が担当。</li> <li>• Region 4 はマニラベースなので、距離的に支援が難しい面がある。</li> </ul>
観光統計のデータベースについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Region 全体で対象 AE の数は 200 程度。</li> <li>• AE からのデータ提供は自治体の意向次第で強制力がないので、なかなか進まない。</li> </ul>
プランニングについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Palawan は 3 つのゾーンに分けて支援している。既存のプランとしては土地利用計画、Province の Tourism Development Plan がある。特定地域や観光地の開発計画づくりにニーズがある。</li> </ul>



面談日	2008年7月31日
訪問先	Regional Office 6
面談者	Edwin G. Trompeta, Regional Director, DOT 6 Helen J. Camarista-Catalbas, Supervising TOO, DOT 6 Bombette G. Marin, Provincial Tourism Officer-Iloilo, Provincial Tourism Office/Iloilo Carina Q. Ruiz, Supervising TOO, Provincial Tourism Office/Aklan Jennylynd D. Cordero, Provincial Tourism Office, Negros Occidental Ben Jimena, City Tourism Officer, Iloilo City Imogene S. Kana-an, City Tourism Officer, Bacolod City Ma. Reda R. Astronomia, TOO II, DOT 6 Rolando Cañizal, Director, OTDP DOT Milagros Y. Say, Chief, TRSD DOT Ramil S. Basuel, TRSD
訪問者	井上、井田
面談内容	
カウンターパートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Tourism Officer と Planning Officer の 2 名が継続的に研修に参加するのがよい。相互の連携は緊密なので双方にプラスになる。</li> </ul>
観光統計について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 宿泊施設のデータ提供について、提出しない施設には Region や Province が直接依頼しているが、施設側は提供する宿泊客のデータが内国歳入庁（Bureau of Internal Revenue : BIR）と共有されるのではないかという不信感がある。また、観光業者への市税徴収を目的とした調査と混同したりする。政令などで強制力をもたせる必要がある。</li> <li>• 既存の観光統計はカバー率が低く、同じ旅行者が Province 内のホテルを移っても 2 名とカウントされるなど、数値の信頼度が低い。航空会社の協力が得られないので旅客の属性（外国人・フィリピン人の区分、観光客の特定など）がわからない。DOT 独自の出口調査などもできていないので、現状としては宿泊施設からのデータの信頼性が一番高い。</li> <li>• 観光統計の整備については実施サイドの能力不足と体制の不備が制約要因。Region 6 の職員は 10 名だが、正規職員は 4 名。Provincial Office には Tourism Officer が配置されているが、専任ではなく Planning Officer との兼務が多い。なかには農業分野と兼務といった例もある。このため、Tourism Officer といっても観光分野の専門性は弱い。ただし、Planning Office 出身者が多いので統計データの重要性は理解している。統計担当の職員は Tourism Office には不在の場合も、Planning Office には配置されているので協力してやれる。Iloilo ではリゾート施設は少なく、宿泊施設の約 95% は大きな市に集中している。</li> <li>• 他の問題として、データ収集の遅れがある。Bacolod City では LGU からのデータ提供が遅く、前年度比で観光客数の推移を市長に提出できないといった問題が生じている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現在、宿泊施設の協力状況は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Negros Occidental Province: 許可業者約 30 のうち、28 施設が提供。Bacolod City は 64 許可業者のうち 62 施設が提供。</li> <li>➢ Iloilo Province: 50 許可業者のうち提供は 4 施設のみ。Iloilo City は約 60 許可業者で全施設が提供。City では 2 名の担当者が対応しており、Association of Iloilo Resorts and Hotels の協力もある。一方で Province には兼務の Tourism Officer が 1 名いるだけで対応できていない。</li> <li>➢ Bolacay では宿泊施設の協力は得ていない。エントリーポイントが空港 1 ヶ所だけなので、空港で旅客に質問票を渡して記入してもらっている。十分な人数を配置しているので調査に問題ない。Bolacay に 200 強、Kalibo に 20 強の宿泊施設がある。</li> </ul> </li> <li>• Province、Municipality ともデータ集計は Excel を活用。ソフトのライセンスはない。Municipality から Province へのデータ提供や連絡は、Fax、携帯電話（テキストメッセージ）が多い。インターネットは LGU に接続している PC が 2 台ほどしかない。</li> </ul>
研修について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研修対象（5 つ以上の施設のある LGU）は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Negros Occidental: 10 LGUs (3 cities + 7 towns)</li> <li>➢ Iloilo: 11 LGUs (1 city + 10 towns)</li> <li>➢ Aklan: 3 LGUs</li> <li>➢ Antique: 4 LGUs</li> <li>➢ Guimaras: 3 LGUs</li> <li>➢ Capiz: 1 LGU</li> </ul> </li> </ul>
プランニングについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Province の観光開発マスタープランを作成したが、知事が代わると継続されない。現実的な対処法として、年度予算に応じ実施可能な計画を立てている。Destination Specific なプランのほうが現実的（Negros Occidental Provincial Office）。</li> </ul>
プロジェクト実施上の課題・留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Local Executive へのオリエンテーションはよいアイデアだが、彼らだけを集めてやるべき。行政官も含めると出席しない可能性が高い。</li> <li>• 宿泊施設へのセミナーは Association of Hotels など既存の団体の会合に含めてもらうのがよい。観光統計だけの話では責任者が出てこない可能性があるので、日本からの観光客誘致のヒントなど得られるプレゼンテーションがあるとよい。</li> </ul>

面談日	2008 年 8 月 7 日
訪問先	Local Government Academy, DILG
面談者	Patrick John D. Megia, Local Government Operations Officer V
訪問者	井上、Alfred、井田
面談内容	

LGA の 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Local Government Academy (LGA) では常設コースと特別コースの研修を実施している。常設コースはガバナンス関係のコースが多い。特別コースは LGU からのリクエストを受けて一定数の応募があった場合に実施している。</li> <li>• 3～5 日間程度の研修を行った場合、通常 LGU の負担は研修参加費(3,000～4,000 ペソ/人) と旅費で、ホテルを利用する場合はその分が上乗せになる。</li> <li>• LGA では各 Region に Regional Resource Center があり、小規模な研修が可能である。Region 7 のセンターの場合、宿泊可能人数 44 名、研修室、図書館など利用できるが、ワークショップを開くほどのスペースはない。</li> </ul>
観光統計 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 過去に自治体からの研修リクエストがあったが、リソースがなく実施しなかった。</li> <li>• JICA-DOT プロジェクトとの連携は、Memorandum of Agreement (MOA) を結んでやっていきたい。プロジェクトの終了を待つ必要はなく、Basic、Advanced、Planning のそれぞれの研修モジュールができた段階で、LGA が引き継ぐことができる。講師については内部講師と DOT からの派遣講師が考えられる。</li> </ul>





